

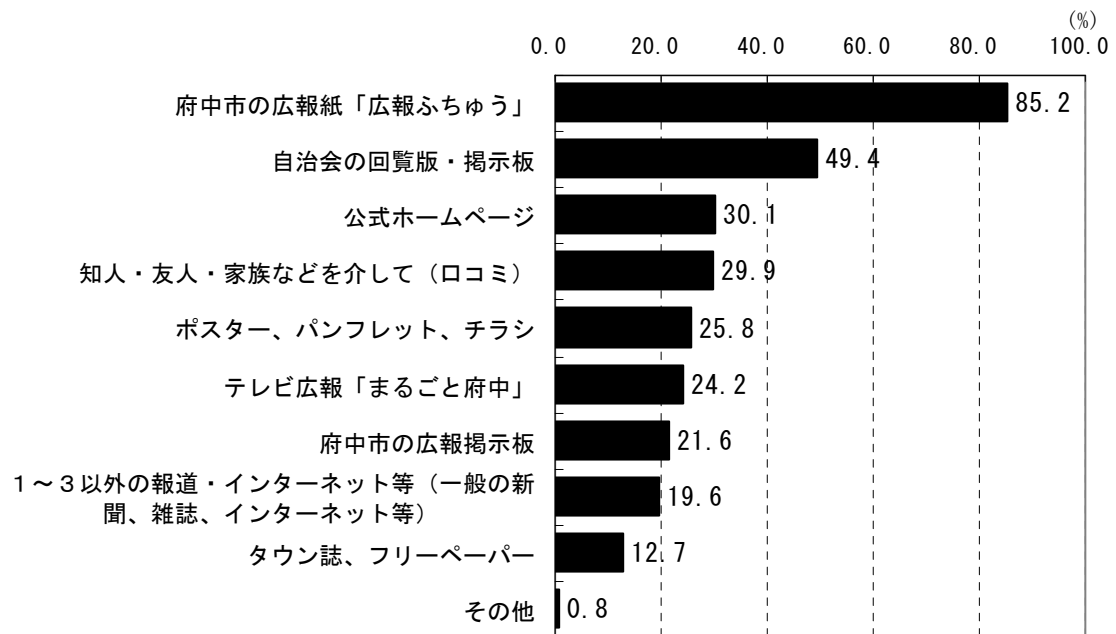
## 5 府中市の広報・情報発信

### (1) 行政情報の入手手段

「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」が8割半ばを占めている。

問 18. あなたが、府中市の行政情報を入手するうえで、利用したことがある手段をすべて選んでください。(n=881)

図 5-1 行政情報の入手手段（複数回答）

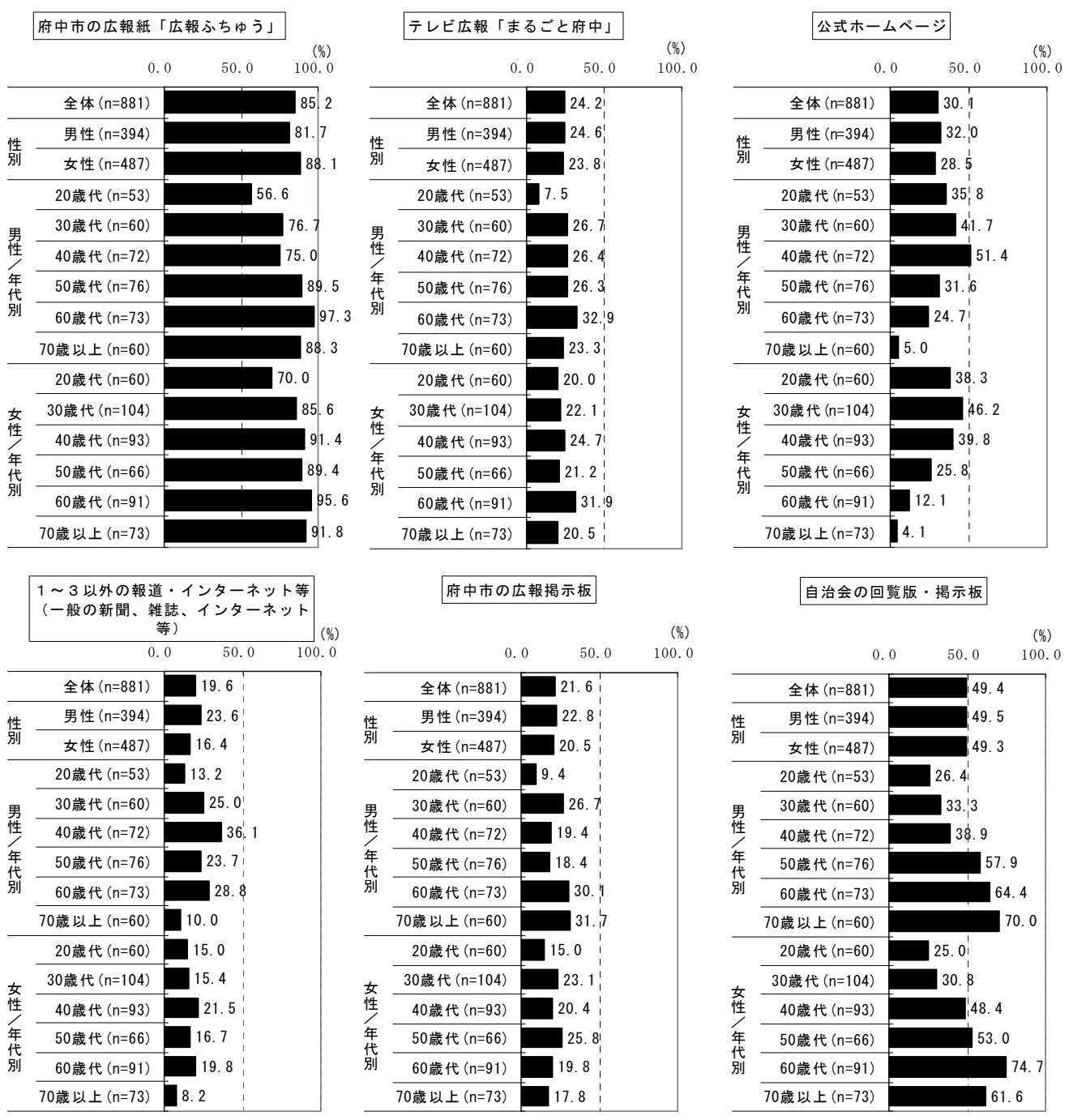


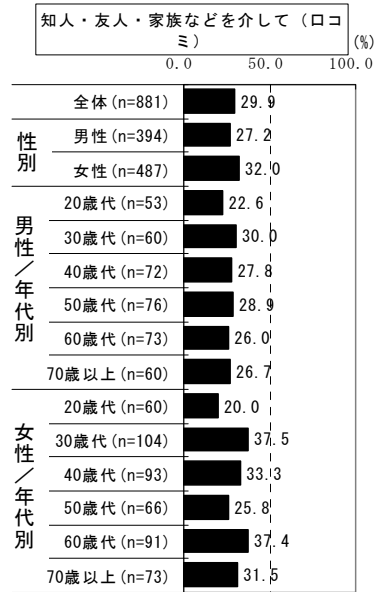
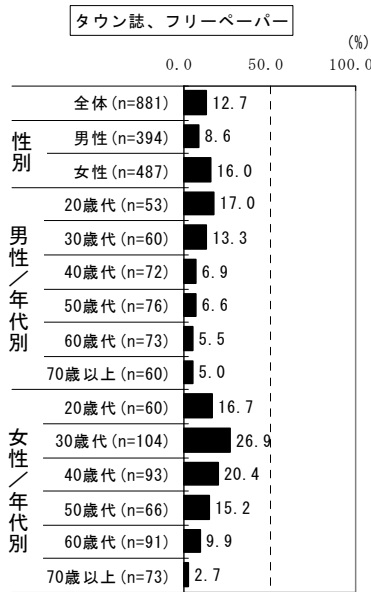
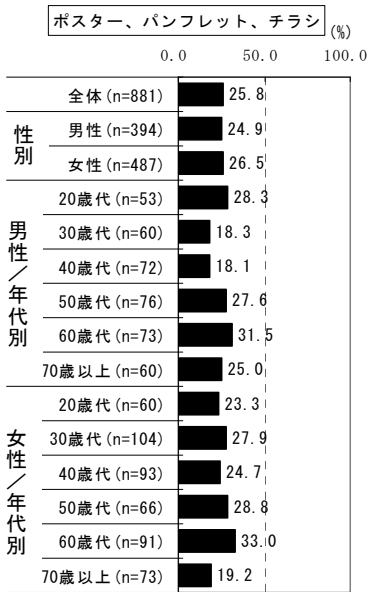
行政情報の入手手段については、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」(85.2%)が最も高く、次いで「自治会の回覧版・掲示板」(49.4%)「公式ホームページ」(30.1%)の順となっている。〔図 5-1〕

性別で見ると、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」「ポスター、パンフレット、チラシ」「タウン誌、フリーペーパー」「知人・友人・家族などを介して（口コミ）」では「男性」より「女性」の方が高くなっている。

年代別にみると、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」は「男性」の「20歳代」を除いたすべての年代で7割以上を占めている。「自治会の回覧版・掲示板」は「男性」の「70歳以上」、「女性」の「60歳代」で高く7割以上を占めており、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。〔図5-2〕

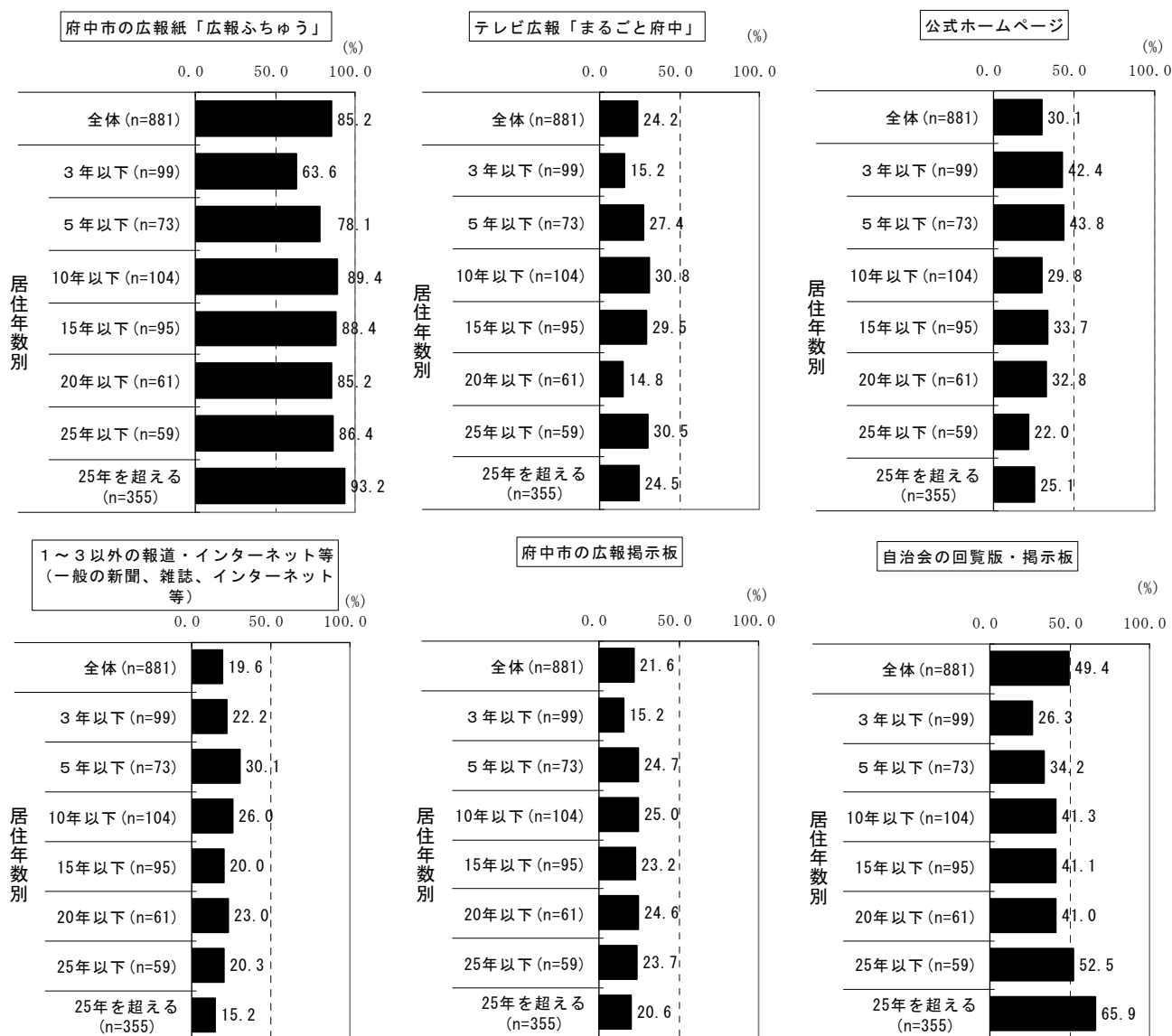
図5-2 行政情報の入手手段／性・年代別





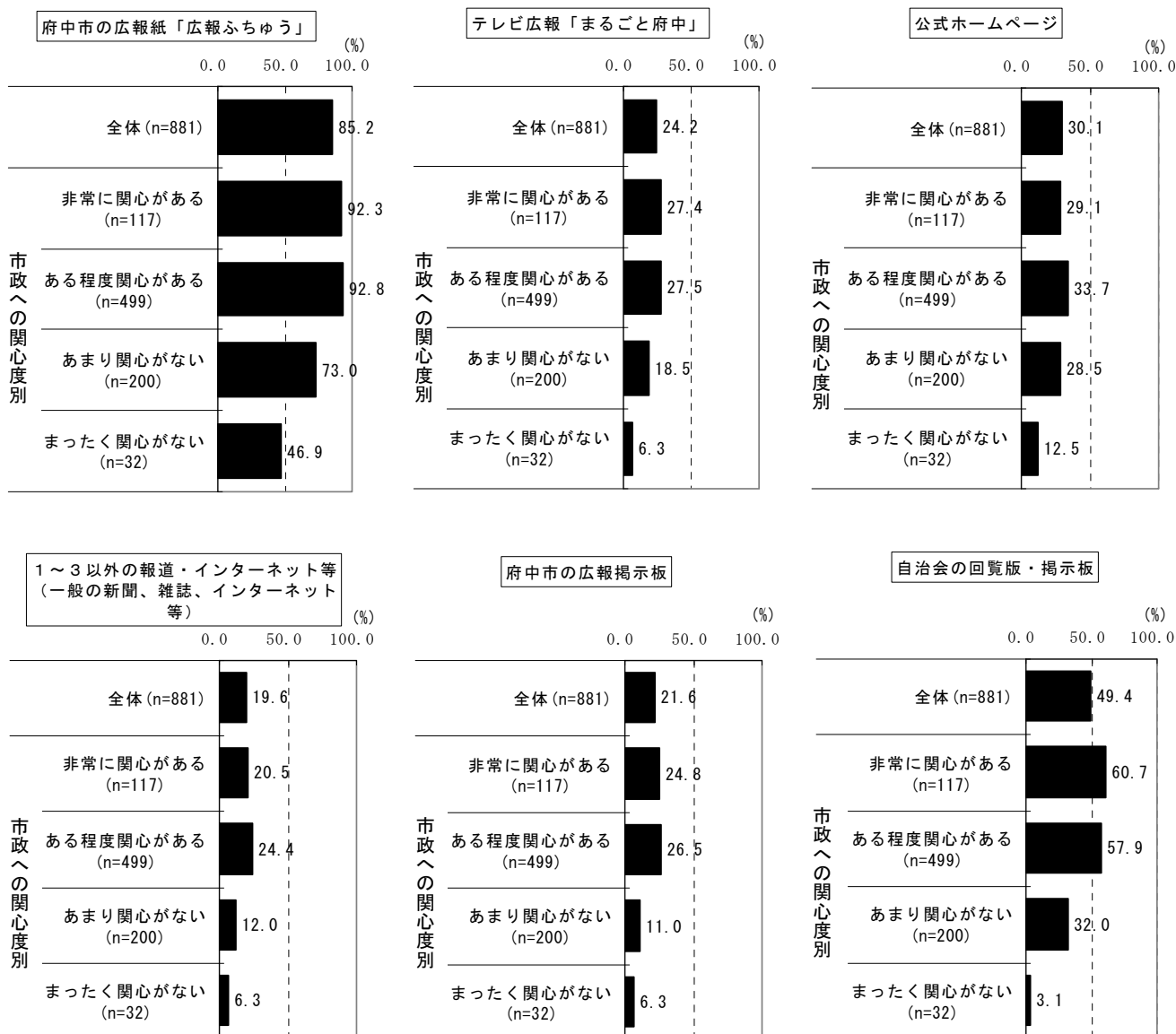
居住年数別にみると、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」は「10年以下」以降の年数で高く9割前後を占めている。「自治会の回覧板・掲示板」は「25年を超える」で最も高く、居住年数が長いほど高くなる傾向がみられる。「公式ホームページ」は「3年以下」「5年以下」で高く4割以上を占めており、居住年数が短いほど高くなる傾向がみられる。〔図5-3〕

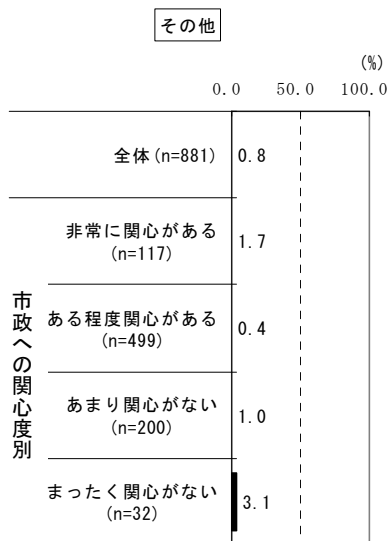
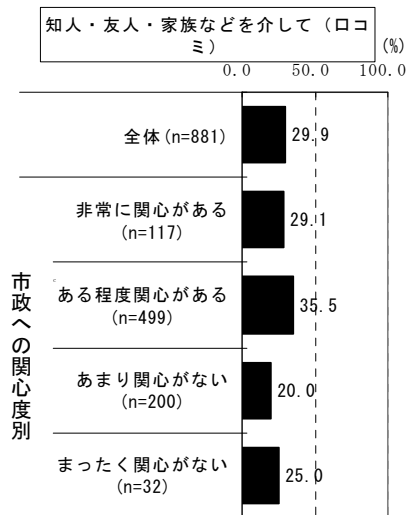
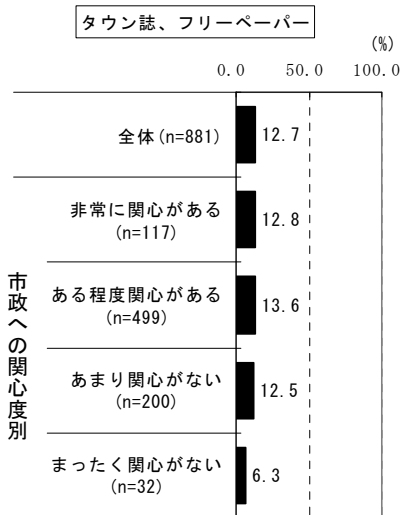
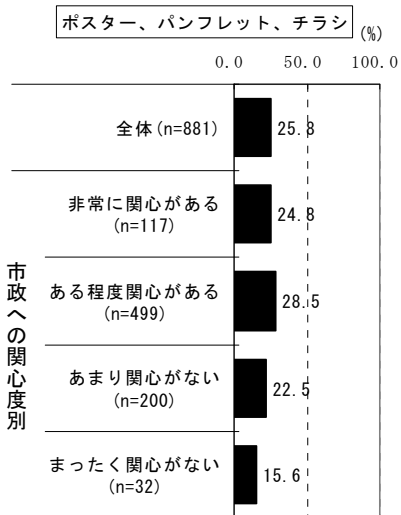
図5-3 行政情報の入手手段／居住年数別



市政への関心度別にみると、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」は「ある程度関心がある」「非常に関心がある」の順に高くそれぞれ9割以上を占めている。また、「まったく関心がない」は4割半ばとなっている。「知人・友人・家族などを介して（口コミ）」では「まったく関心がない」が「あまり関心がない」より高くなっている。〔図5-4〕

図5-4 行政情報の入手手段／市政への関心度別



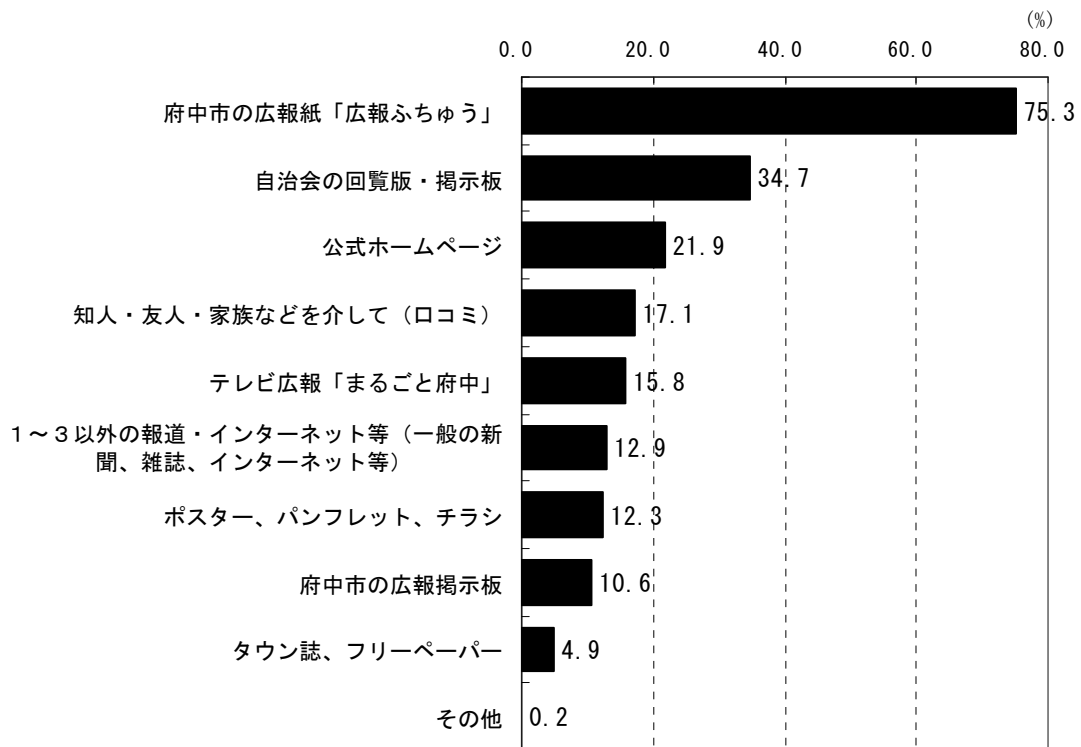


## (2) よく利用する行政情報の入手手段

「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」が最も高く、7割半ばを占めている。

問 19. 問 18 の回答のうち、特によく利用するものを3つまで選んでください。(n=881)

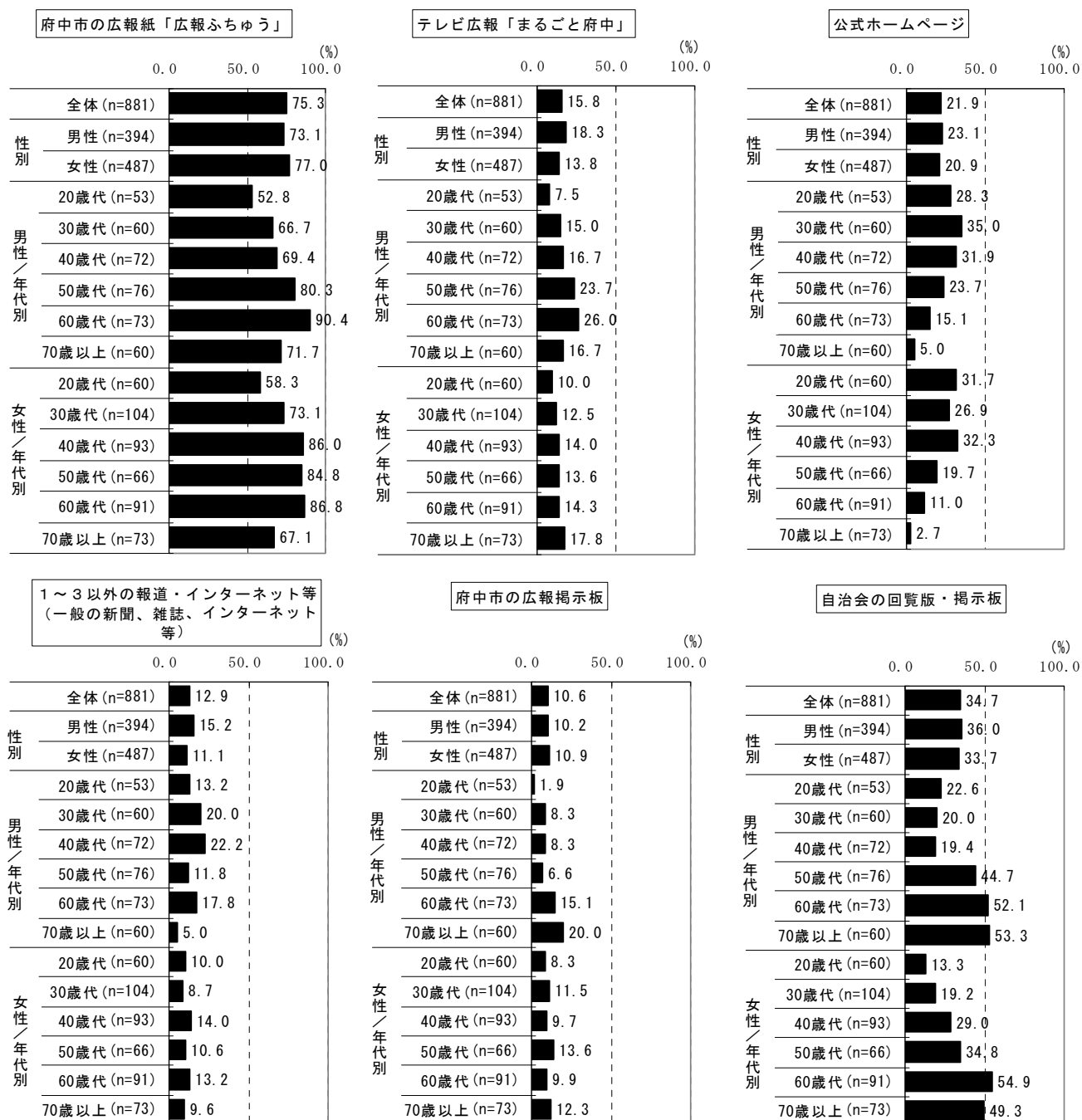
図 5-5 よく利用する行政情報の入手手段（複数回答）



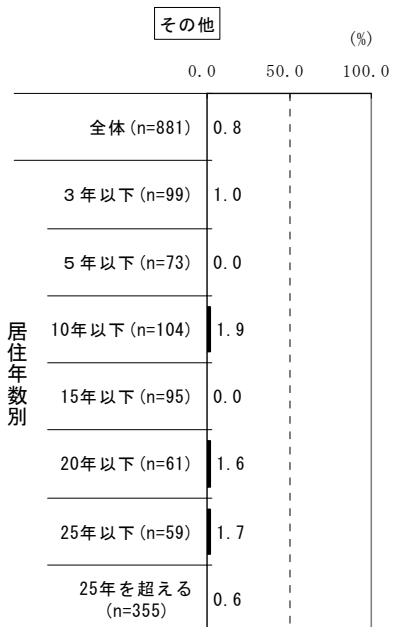
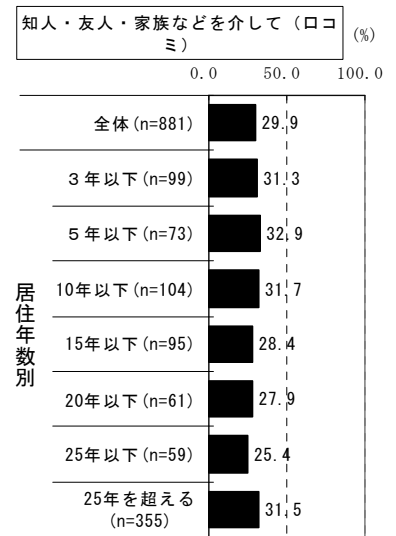
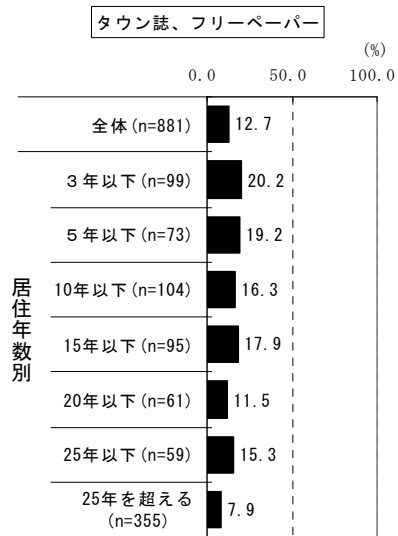
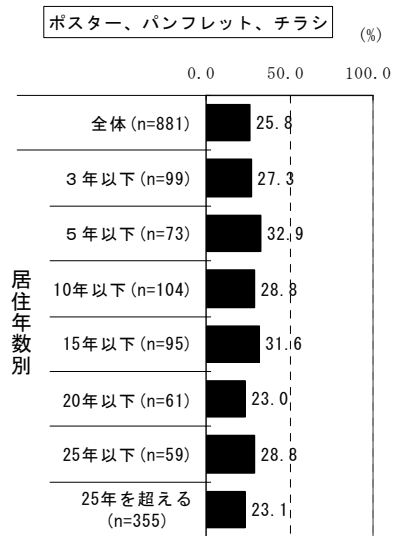
よく利用する行政情報の入手手段については、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」(75.3%) が最も高く、次いで「自治会の回覧版・掲示板」(34.7%) 「公式ホームページ」(21.9%) の順となっている。〔図 5-5〕

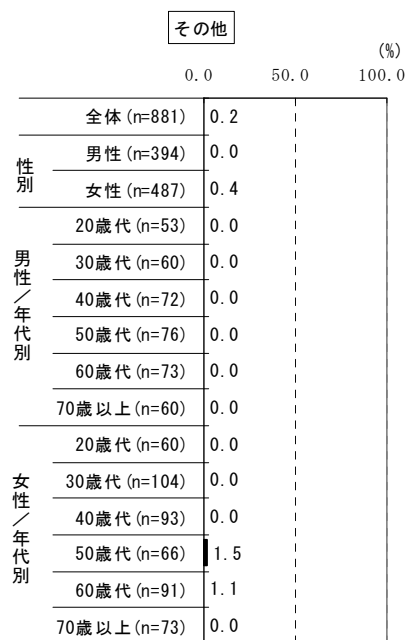
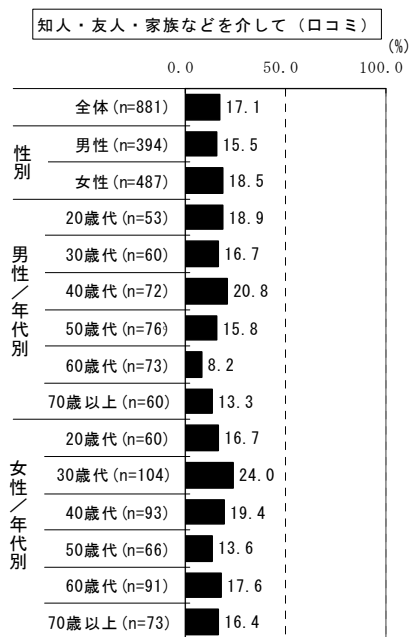
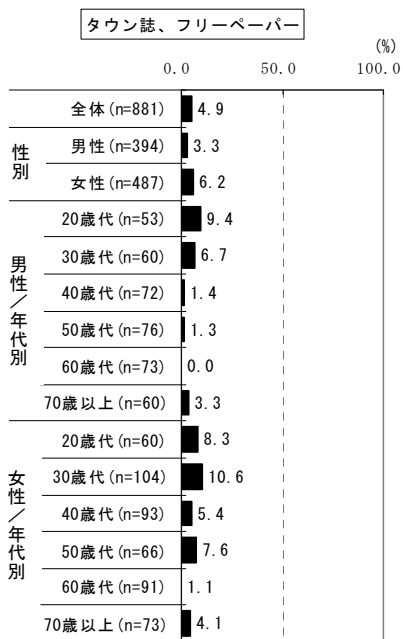
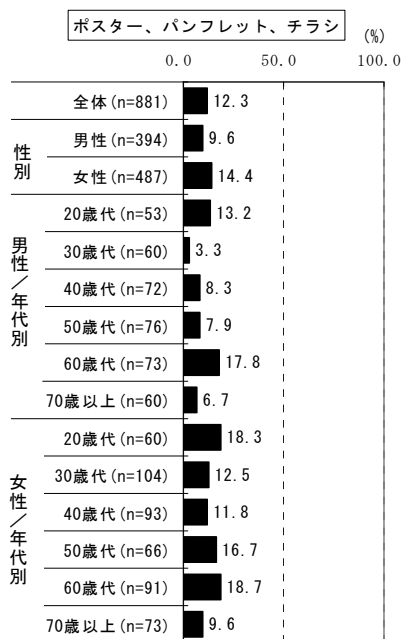
性・年代別でみると、「府中市の広報紙「広報ふちゅう」」は「男性」の「60歳代」で最も高く9割以上を占めており、次いで「男性」の「50歳代」、「女性」の「40歳代」から「60歳代」で高く8割以上を占めている。「自治会の回覧版・掲示板」は「男性」の「60歳代」「70歳以上」、「女性」の「60歳代」で5割以上を占めており、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「公式ホームページ」は「男性」「女性」とともに「20歳代」から「40歳代」の若い世代で高くなっている。〔図5-6〕

図5-6 よく利用する行政情報の入手手段／性・年代別







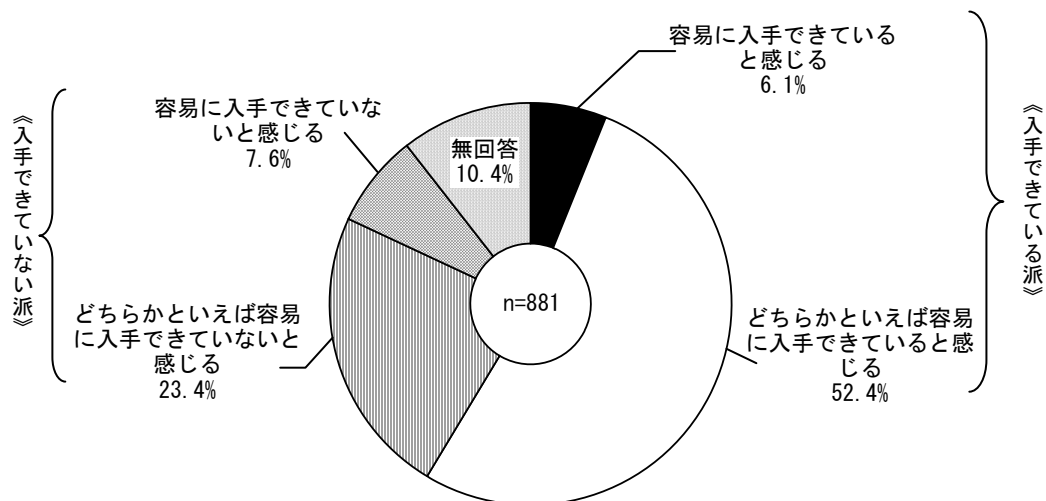


### (3) 行政情報の入手しやすさ

《入手できている派》が6割近くを占めている。

問 20. あなたは、府中市の行政情報が容易に入手できている（行政情報に容易にアクセスできている）と感じますか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。  
(n=881)

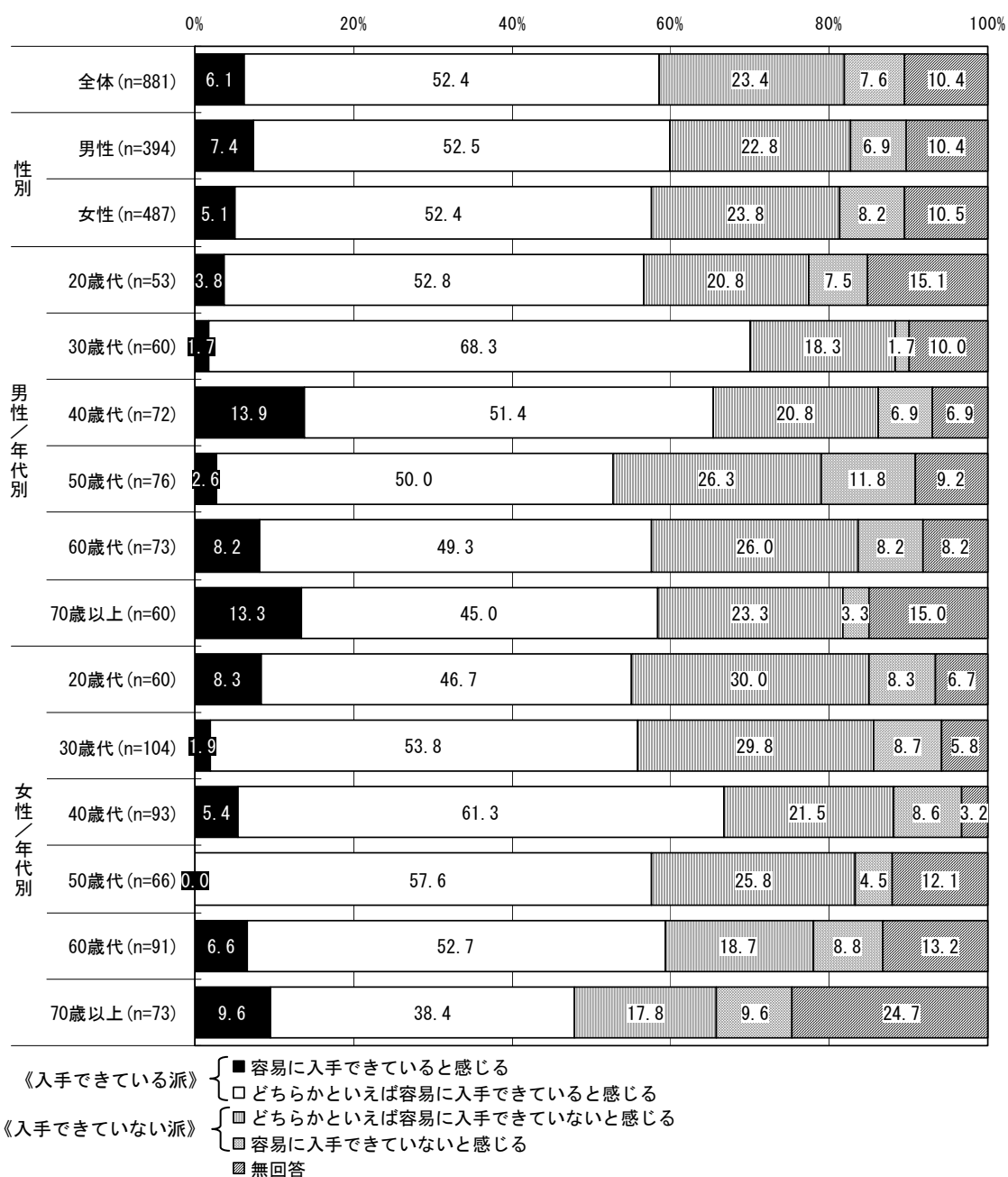
図 5-7 行政情報の入手しやすさ



行政情報の入手しやすさについては、「容易に入手できていると感じる」(6.1%)と「どちらかといえば容易に入手できていると感じる」(52.4%)を合わせた《入手できている派》が6割近くを占めており、「どちらかといえば容易に入手できていないと感じる」(23.4%)と「容易に入手できていないと感じる」(7.6%)を合わせた《入手できていない派》を上回っている。〔図 5-7〕

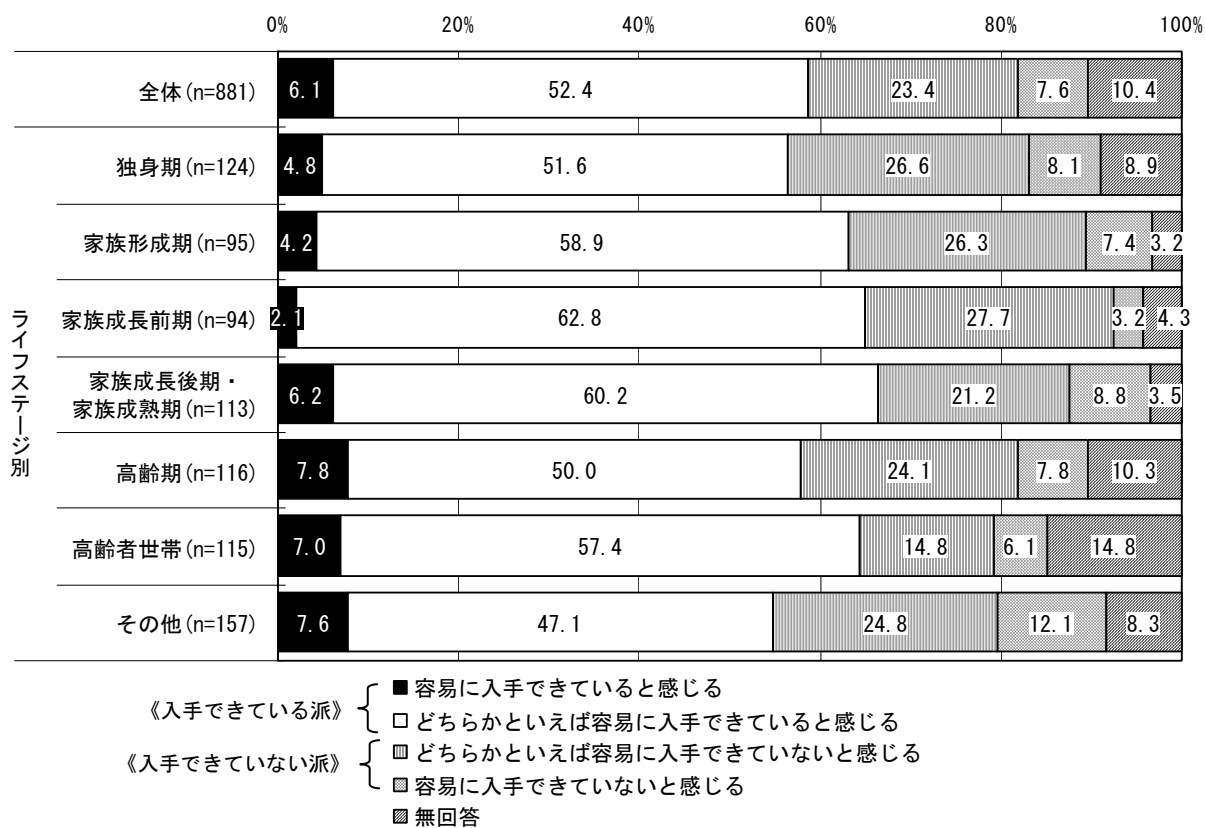
性・年代別でみると、すべての年代で《入手できている派》が《入手できていない派》より高くなっている。《入手できている派》は「男性」の「30歳代」「40歳代」、「女性」の「40歳代」で高く6割以上を占めており、「容易に入手できていると感じる」は「男性」の「40歳代」「70歳以上」で高く1割半ばを占めている。《入手できていない派》は「女性」の「30歳代」で最も高く、次いで「女性」の「20歳代」、「男性」の「50歳代」となっており、それぞれ4割近くを占めている。〔図5-8〕

図5-8 行政情報の入手しやすさ／性・年代別



ライフステージ別にみると、すべてのライフステージで《入手できている派》が《入手できていない派》より高く、「独身期」「高齢期」「その他」を除くライフステージで6割以上を占めている。《入手できていない派》は「その他」で最も高く、次いで「独身期」となっている。〔図5-9〕

図5-9 行政情報の入手しやすさ／ライフステージ別



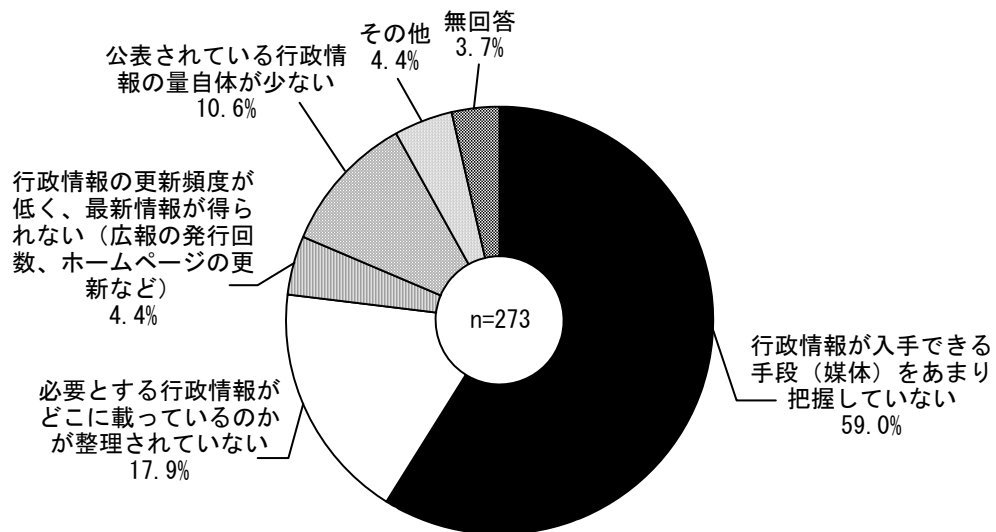
#### (4) 行政情報の入手に不便を感じる理由

「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」が最も高く、6割近くを占めている。

〔問 20 で「3」か「4」をお答えの方に〕

問 20-1. あなたが府中市の行政情報が容易に入手できていない（行政情報に容易にアクセスできていない）と感じる理由は、どのようなものですか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。（n=273）

図 5-10 行政情報の入手に不便を感じる理由

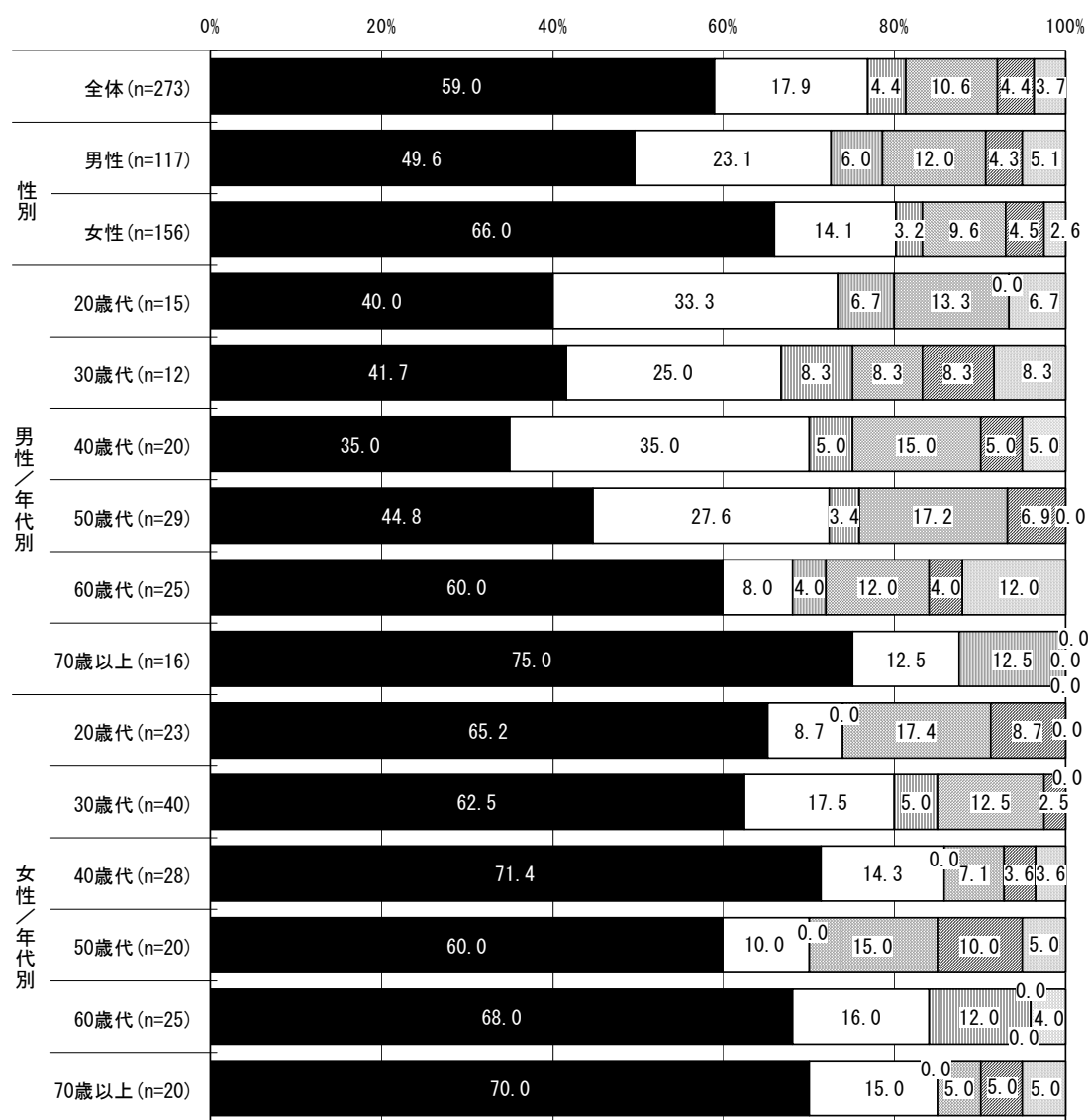


行政情報の入手に不便を感じる理由については、「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」（59.0%）が最も高く、次いで「必要とする行政情報がどこに載っているのかが整理されていない」（17.9%）「公表されている行政情報の量自体が少ない」（10.6%）の順となっている。〔図 5-10〕

性別にみると、「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」は「男性」より「女性」のほうが高く、「必要とする行政情報がどこに載っているのかが整理されていない」は「女性」より「男性」のほうが高くなっている。

年代別にみると、「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」は「男性」では年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、「女性」ではすべての年代で高く6割以上を占めている。「必要とする行政情報がどこに載っているのかが整理されていない」は「男性」の「20歳代」「40歳代」で高く3割半ばを占めている。〔図5-11〕

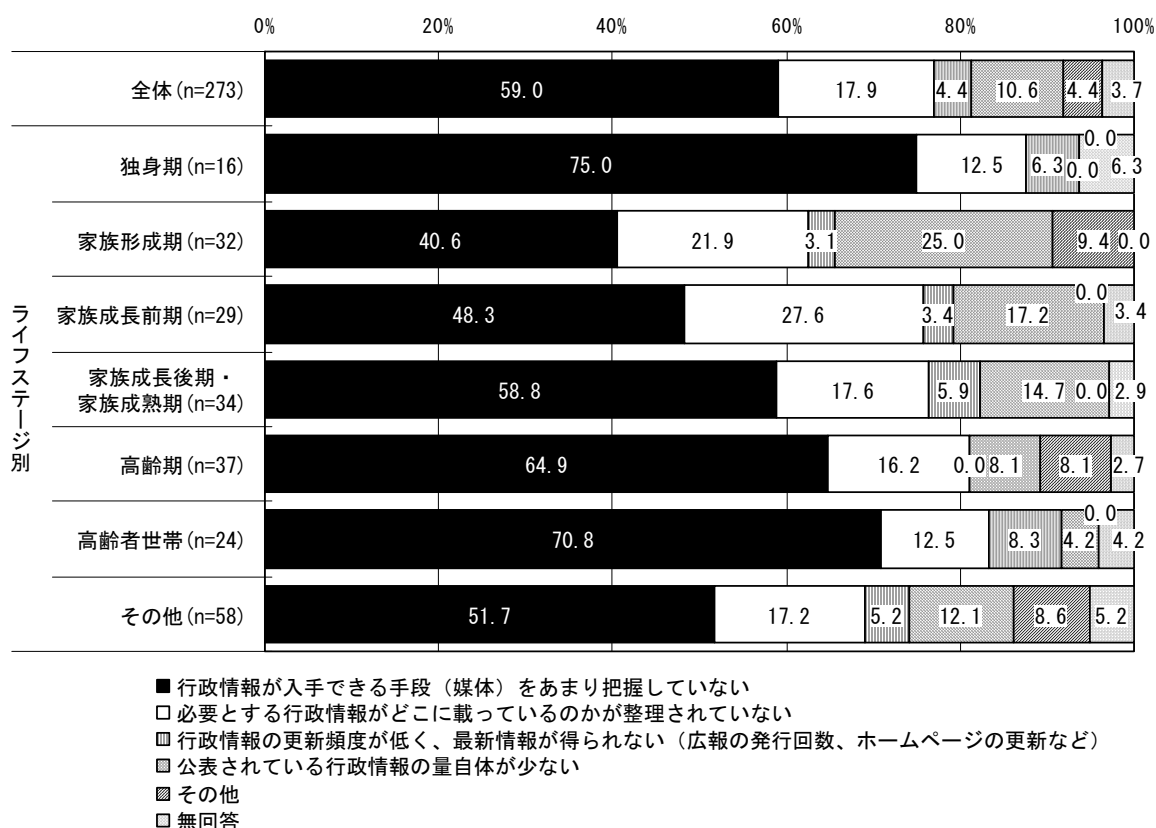
図5-11 行政情報の入手に不便を感じる理由／性・年代別



- 行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない
- 必要とする行政情報がどこに載っているのかが整理されていない
- ▨ 行政情報の更新頻度が低く、最新情報が得られない（広報の発行回数、ホームページの更新など）
- ▩ 公表されている行政情報の量自体が少ない
- ▧ その他
- 無回答

ライフステージ別にみると、「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」は「独身期」で最も高く、次いで「高齢者世帯」「高齢期」の順となっており、「家族形成期」から「高齢者世帯」ではライフステージが上がるにつれて高くなっている。「必要とする行政情報がどこに載っているのかが整理されていない」は「家族成長前期」で最も高く、次いで「家族形成期」となっており、それぞれ2割以上を占めている。また、「公表されている行政情報の量自体が少ない」は「家族形成期」で最も高く2割半ばを占めている。〔図 5-12〕

図 5-12 行政情報の入手に不便を感じる理由／ライフステージ別



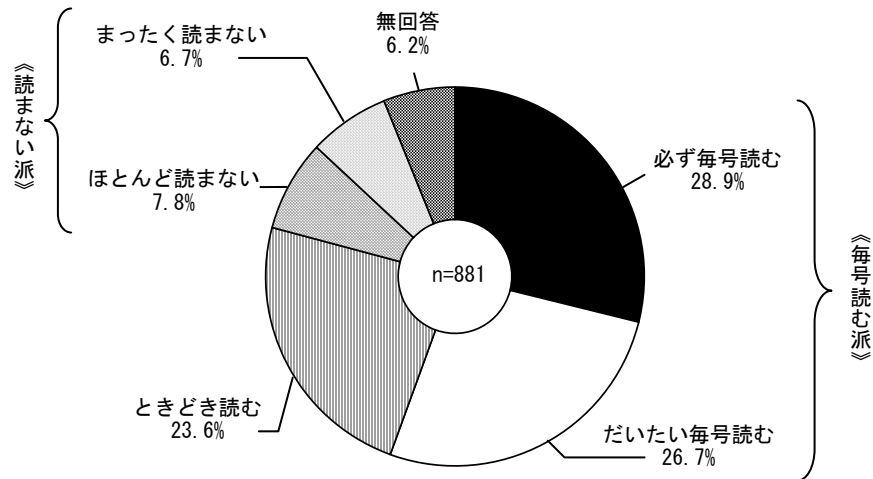


### (5)「広報ふちゅう」を読む頻度

《毎号読む派》が5割半ばを占め、《読まない派》を上回っている。

問 21. 府中市の広報紙「広報ふちゅう」についておうかがいします。あなたが「広報ふちゅう」を読む頻度を、次の中から1つだけ選んでください。(n=881)

図 5-13 「広報ふちゅう」を読む頻度

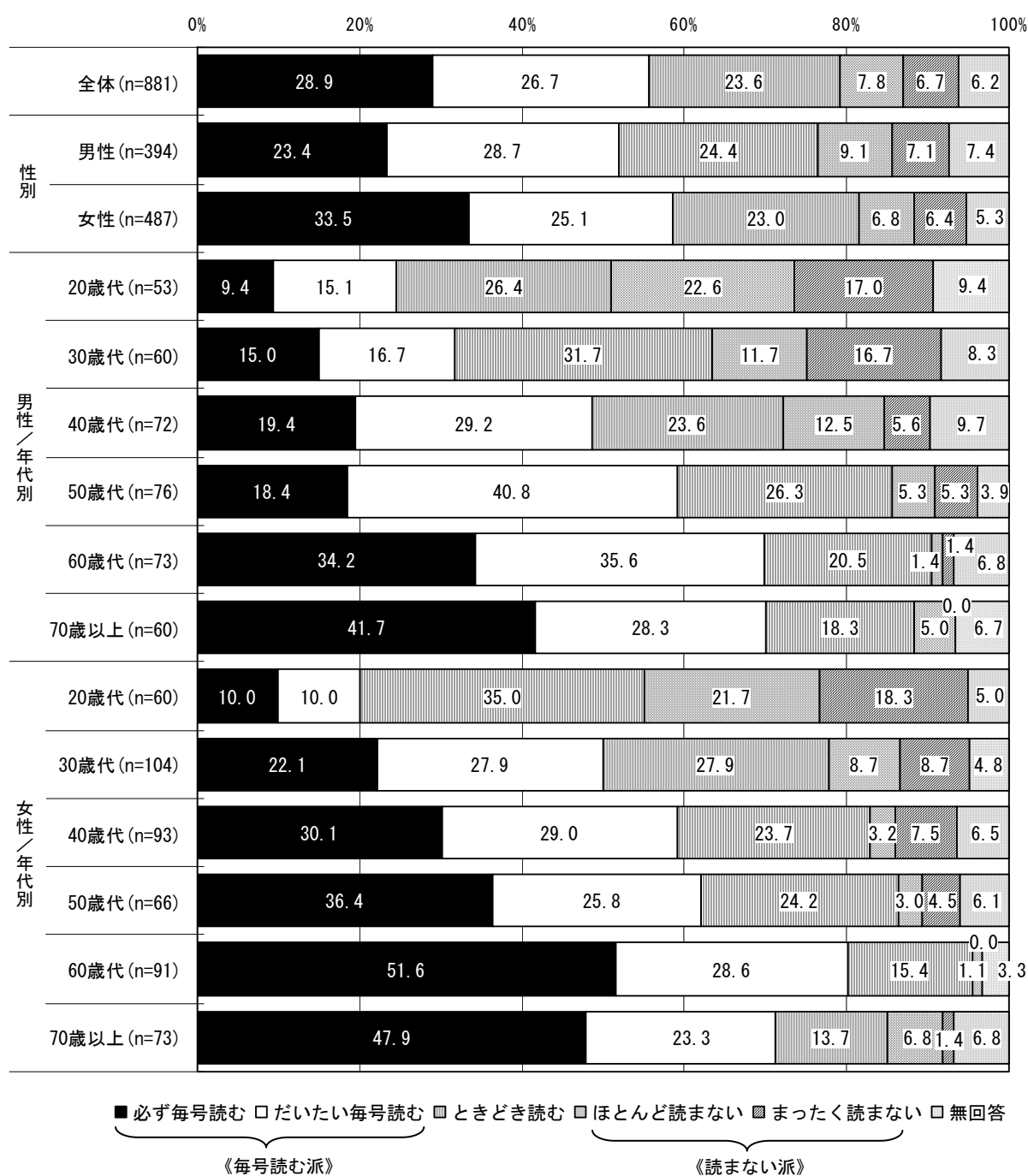


「広報ふちゅう」を読む頻度については、「必ず毎号読む」(28.9%)が最も高く、次いで「だいたい毎号読む」(26.7%)、「ときどき読む」(23.6%)の順となっている。

「必ず毎号読む」と「だいたい毎号読む」をあわせた《毎号読む派》が5割半ばを占めており、「ほとんど読まない」と「まったく読まない」をあわせた《読まない派》を大きく上回っている。[図 5-13]

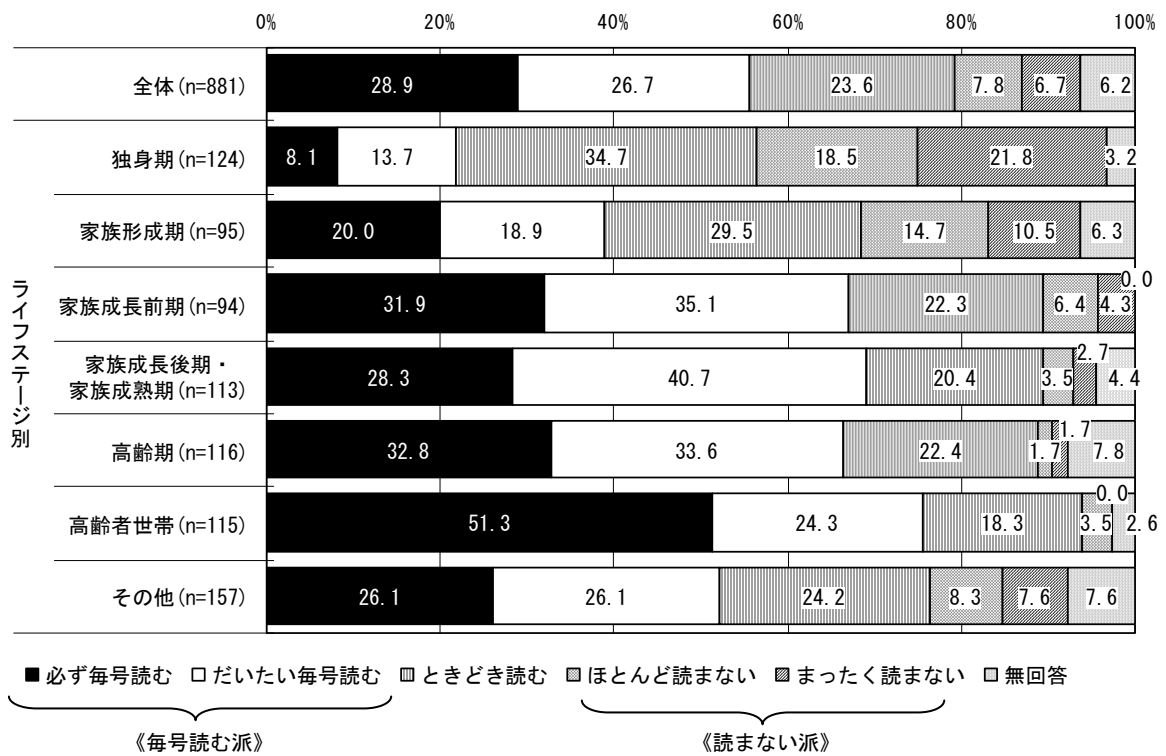
性・年代別にみると、《毎号読む派》は「男性」より「女性」のほうが高く6割近くを占めている。「必ず毎号読む」は「男性」「女性」とともに年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「だいたい毎号読む」は「男性」の「50歳代」で最も高く4割以上を占めている。一方、《読まない派》は年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。〔図5-14〕

図5-14 「広報ふちゅう」を読む頻度／性・年代別



ライフステージ別にみると、「必ず毎号読む」は「高齢者世帯」で最も高く5割以上を占めている。《毎号読む派》は「家族成長前期」から「高齢者世帯」で高く7割前後を占めている。一方、《読まない派》は「独身期」「家族形成期」の若いライフステージで高くなっている。〔図 5-15〕

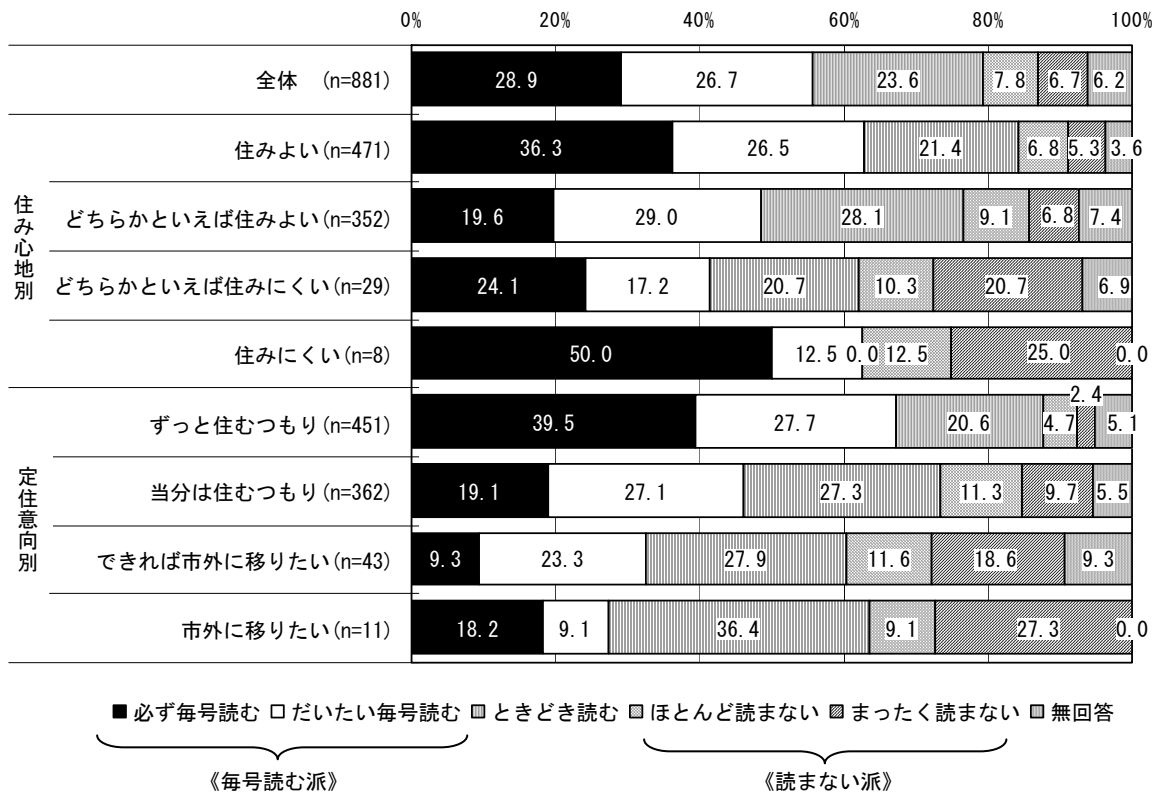
図 5-15 「広報ふちゅう」を読む頻度／ライフステージ別



住み心地別にみると、《毎号読む派》は「住みよい」で最も高く、住み心地がよいほど高くなる傾向がみられる。一方、《読まない派》は「どちらかといえば住みにくい」で最も高く、住み心地が低いほど高くなる傾向がみられる。なお、「住みにくい」は母数が少ないため参考値とする。

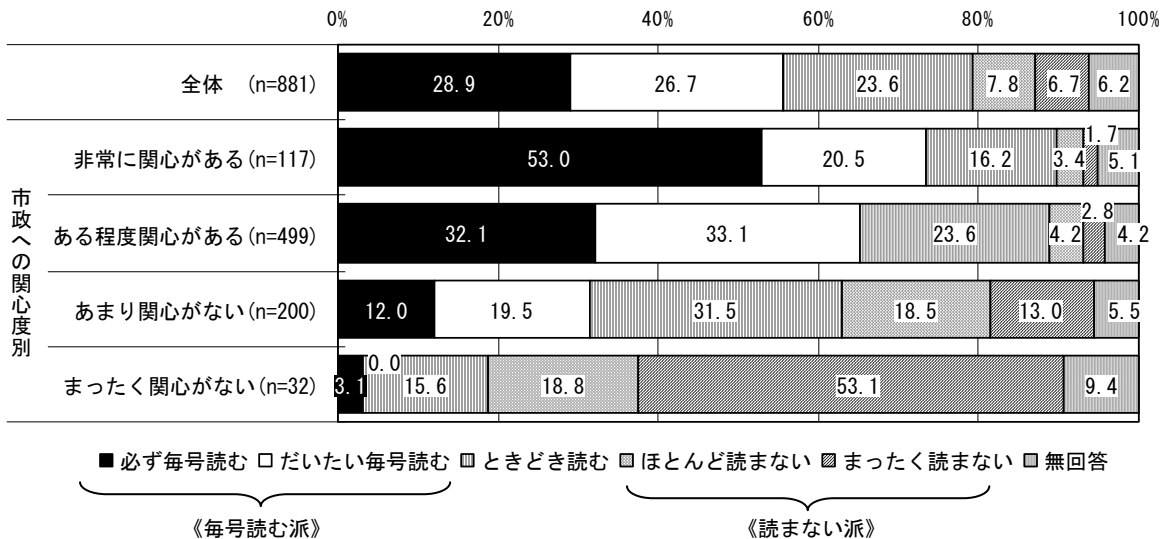
定住意向別にみると、「必ず毎号読む」は「ずっと住むつもり」で最も高く、定住意向が高いほど高くなる傾向がみられる。なお、「市外に移りたい」は母数が少ないため参考値とする。〔図 5-16〕

図 5-16 「広報ふちゅう」を読む頻度／住み心地・定住意向別



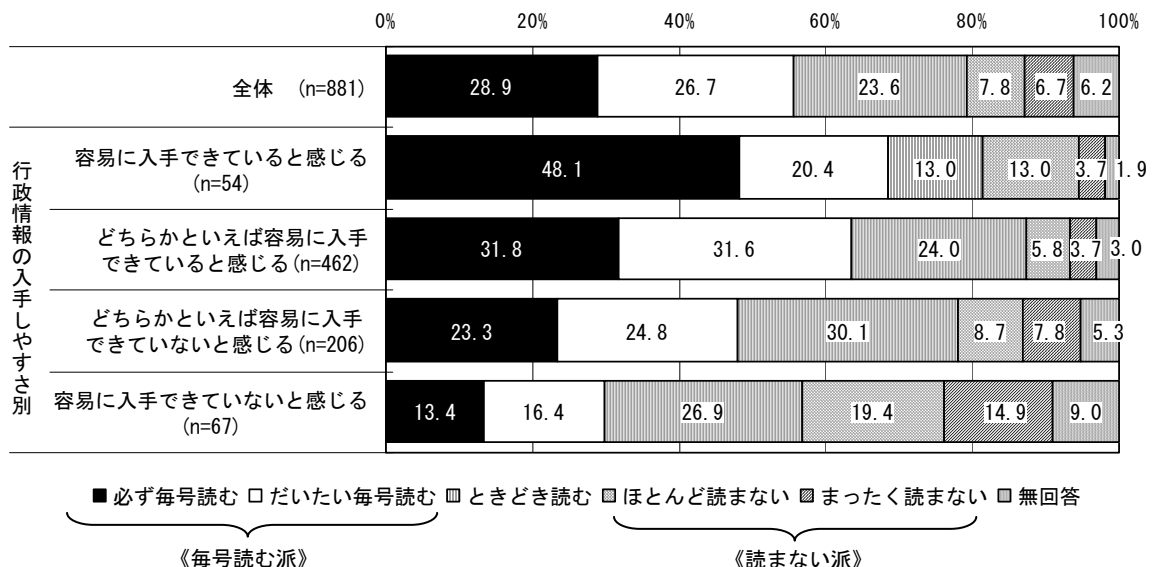
市政への関心度別にみると、「必ず毎号読む」は「非常に関心がある」で最も高く5割以上を占めており、関心度が高いほど高くなる傾向がみられる。一方、《読まない派》は「まったく関心がない」で最も高く7割以上を占めており、関心度が低くなるにつれて高くなる傾向がみられる。〔図 5-17〕

図 5-17 「広報ふちゅう」を読む頻度／市政への関心度別



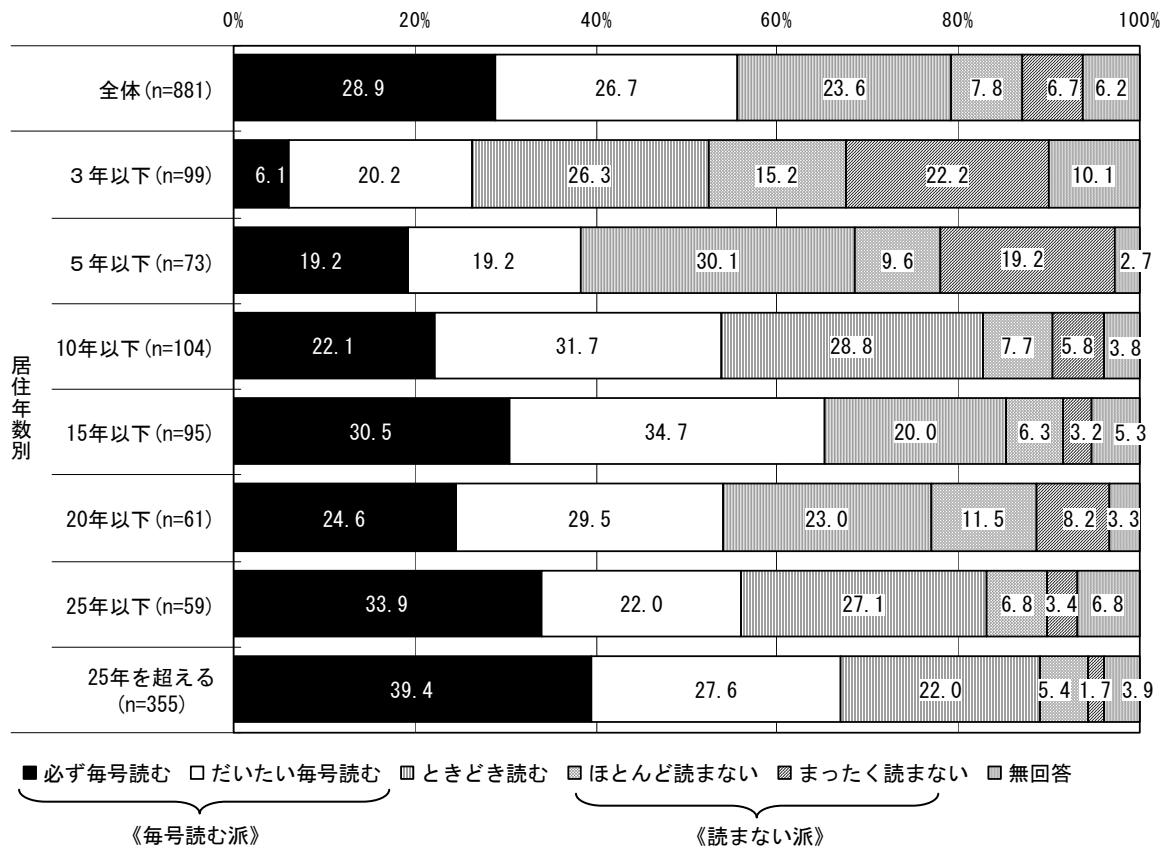
行政情報の入手しやすさ別にみると、「必ず毎号読む」は「容易に入手できていると感じる」で最も高く5割近くを占めており、行政情報の入手が容易と感じているほど高くなる傾向がみられる。一方、《読まない派》は「容易に入手できていないと感じる」で最も高く3割以上を占めており、行政情報の入手が容易ではないと感じているほど読む頻度が低くなる傾向がみられる。〔図 5-18〕

図 5-18 「広報ふちゅう」を読む頻度／行政情報の入手しやすさ別



居住年数別にみると、「必ず毎号読む」は「25年を超える」で最も高く4割近くを占め、次いで「25年以下」「15年以下」の順となっており、居住年数が長いほど高くなる傾向がみられる。「だいたい毎号読む」は「15年以下」「10年以下」の順に高くそれぞれ3割以上を占めている。一方、「まったく読まない」は「3年以下」「5年以下」で高く2割前後を占めている。〔図5-19〕

図5-19 「広報ふちゅう」を読む頻度／居住年数別



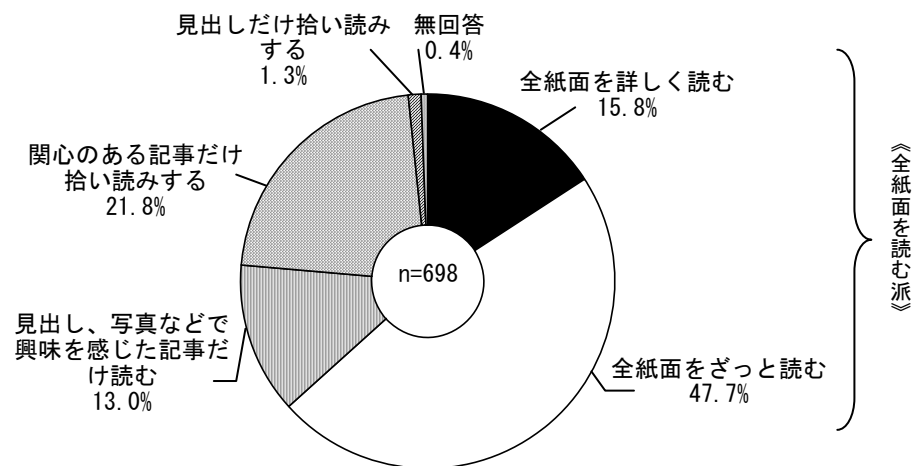
## (6)「広報ふちゅう」の読み方

《全紙面を読む派》が6割半ばを占めている。

〔問 21 で「1」「2」「3」とお答えの方に〕

問 21-1. あなたはどのように「広報ふちゅう」を読みますか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(n=698)

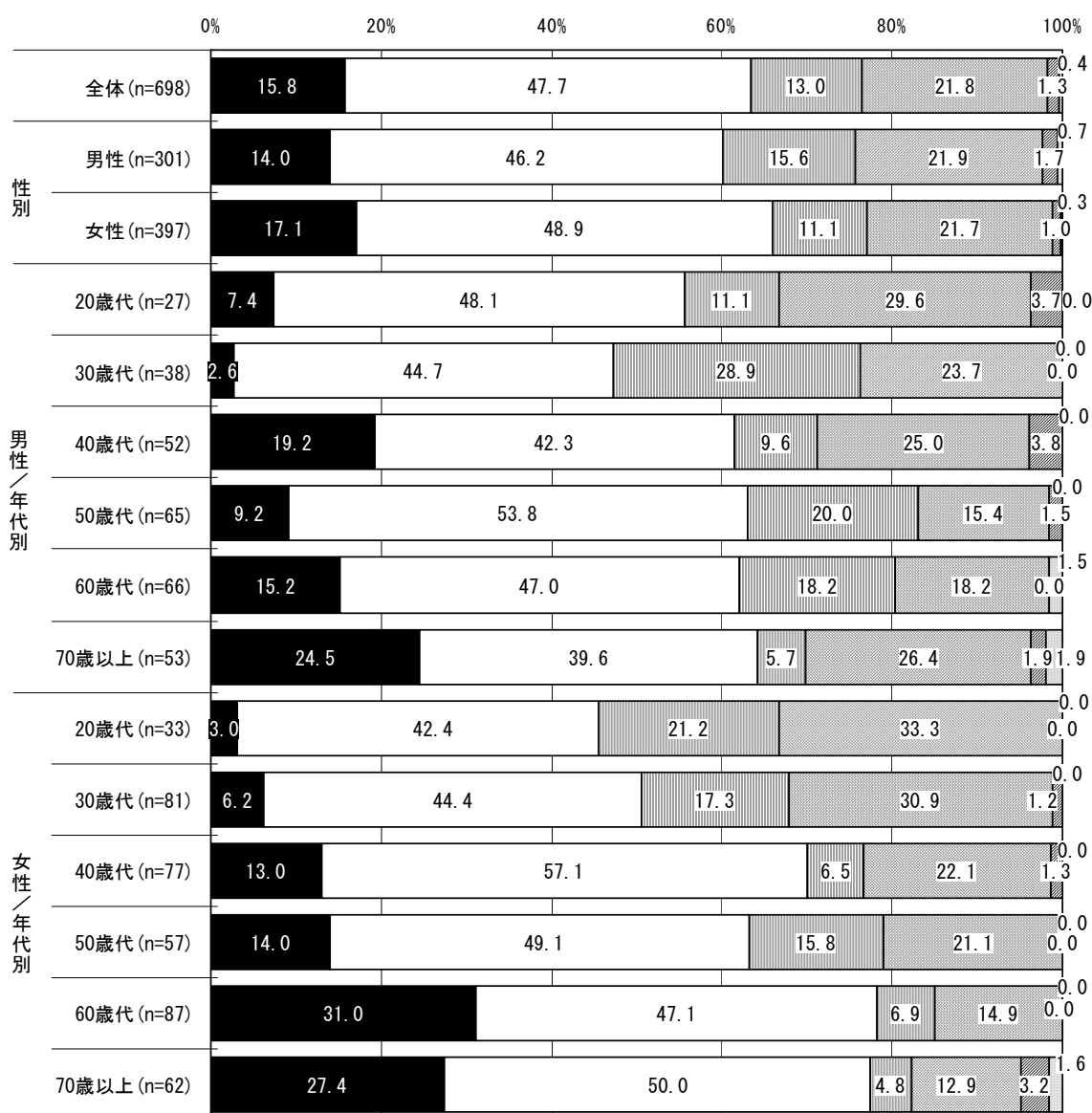
図 5-20 「広報ふちゅう」の読み方



「広報ふちゅう」の読み方については、「全紙面をざっと読む」(47.7%)が最も高く、次いで「関心のある記事だけ拾い読みする」(21.8%)「全紙面を詳しく読む」(15.8%)の順となっている。「全紙面を詳しく読む」と「全紙面をざっと読む」をあわせた《全紙面を読む派》が6割半ばを占めている。〔図 5-20〕

性・年代別にみると、《全紙面を読む派》は「男性」より「女性」のほうが高くなっている。「全紙面を詳しく読む」は「女性」の「60歳代」「70歳以上」で高く3割前後を占めている。「全紙面をざっと読む」はすべての年代で最も高くなっており、「男性」の「50歳代」、「女性」の「40歳代」「70歳以上」で5割以上を占めている。「関心のある記事だけ拾い読みする」は「女性」の「20歳代」「30歳代」、「男性」の「20歳代」の順に高く3割前後を占めている。「見出し、写真などで興味を感じた記事だけ読む」は「男性」の「30歳代」で最も高く3割近くを占め、次いで「女性」の「20歳代」、「男性」の「50歳代」の順に高くそれぞれ2割以上を占めている。〔図 5-21〕

図 5-21 「広報ふちゅう」の読み方／性・年代別



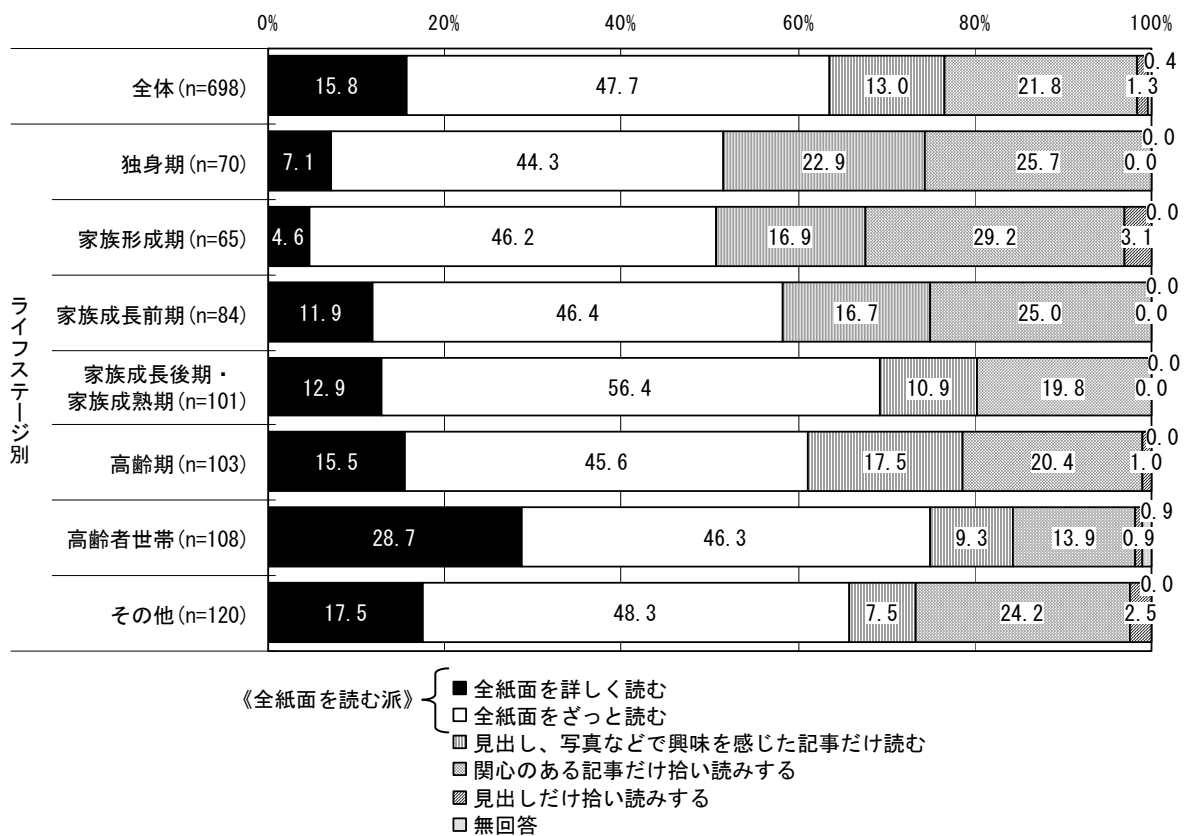
《全紙面を読む派》

- 全紙面を詳しく読む
- 全紙面をざっと読む
- ▨ 見出し、写真などで興味を感じた記事だけ読む
- ▩ 関心のある記事だけ拾い読みする
- ▧ 見出しだけ拾い読みする
- ▦ 無回答



ライフステージ別にみると、すべてのライフステージで「全紙面をざっと読む」が最も高くなっており、それぞれ4割半ばから5割半ばを占めている。「全紙面を詳しく読む」は「高齢者世帯」で最も高く3割近くを占めており、ライフステージが上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「関心のある記事だけ拾い読みする」は「独身期」から「家族成長前期」で高くそれぞれ2割半ばから3割近くを占めている。「見出し、写真などで興味を感じた記事だけ読む」は「独身期」で最も高く2割以上を占めている。〔図 5-22〕

図 5-22 「広報ふちゅう」の読み方／ライフステージ別



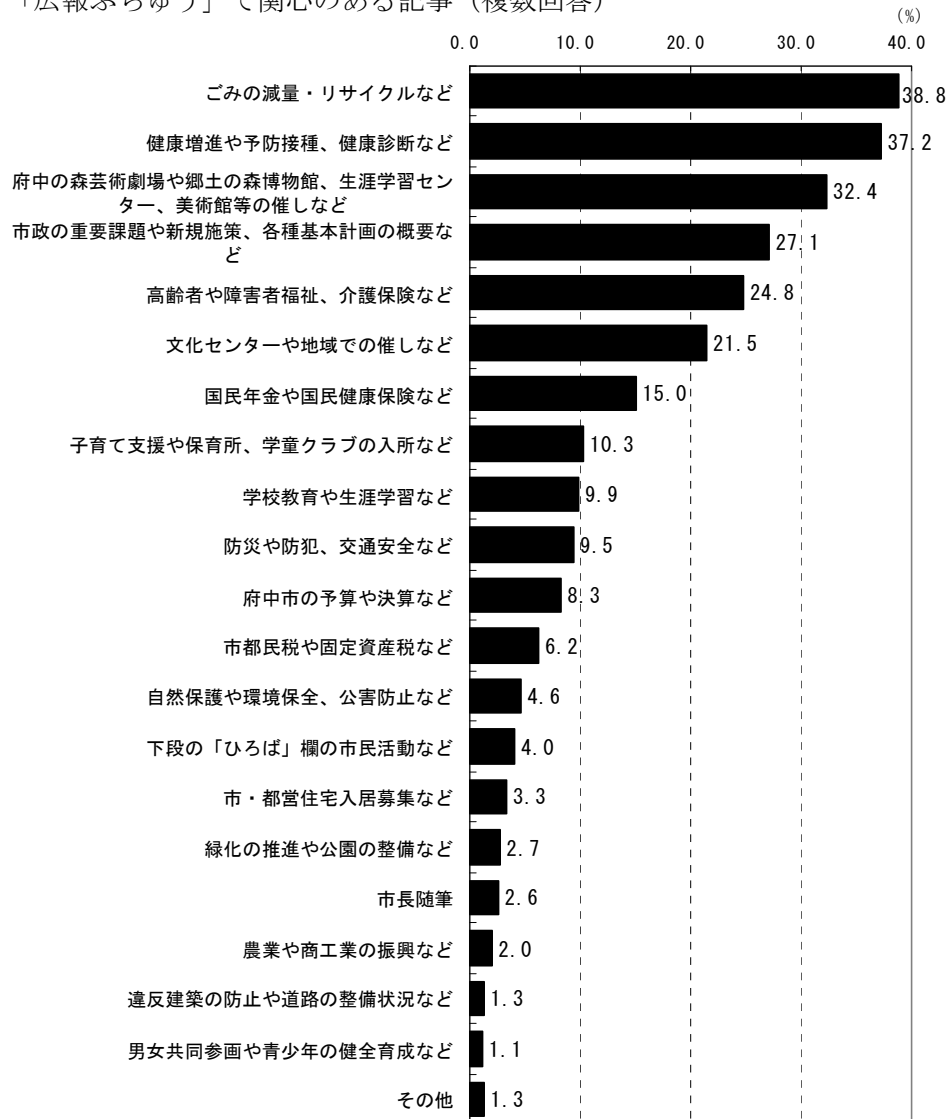
## (7)「広報ふちゅう」で関心のある記事

「ごみの減量・リサイクルなど」が最も高く、4割近くを占めている。

〔問 21 で「1」「2」「3」とお答えの方に〕

問 21-2. あなたが「広報ふちゅう」で特に関心をもって読む記事は、どのような内容のものですか。次の中から3つまで選んでください。(n=698)

図 5-23 「広報ふちゅう」で関心のある記事（複数回答）



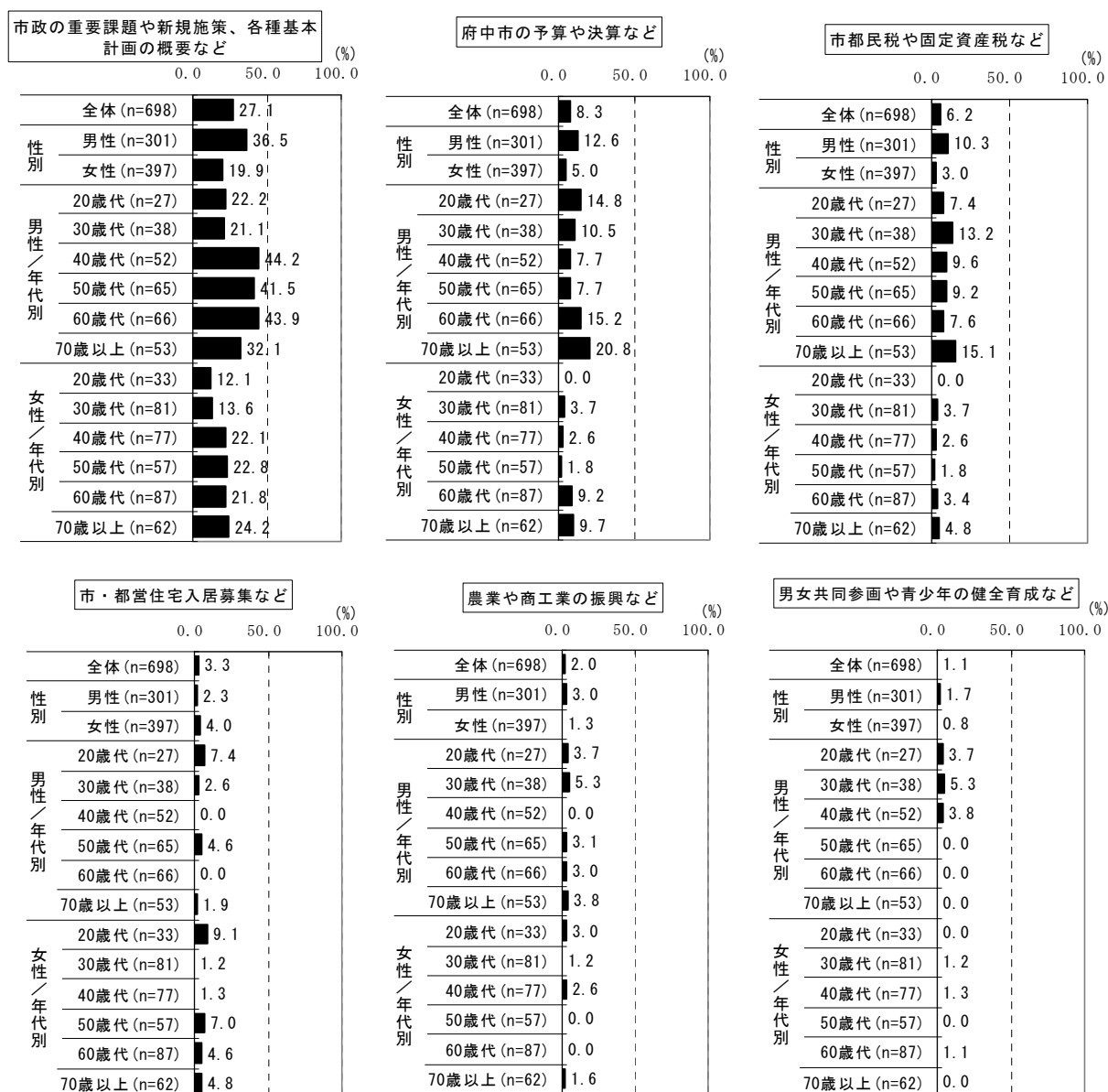
「広報ふちゅう」で関心のある記事については、「ごみの減量・リサイクルなど」(38.8%)が最も高く、次いで「健康増進や予防接種、健康診断など」(37.2%)「府中の森芸術劇場や郷土の森博物館、生涯学習センター、美術館等の催しなど」(32.4%)の順となっている。

〔図 5-23〕

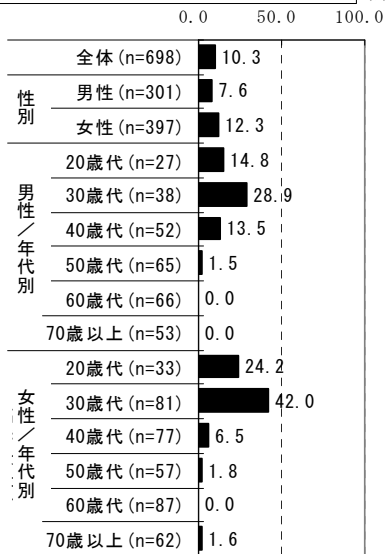
性別にみると、「ごみの減量・リサイクルなど」「健康増進や予防接種」「府中の森芸術劇場や郷土の森博物館、生涯学習センター、美術館等の催しなど」の上位3項目で「男性」より「女性」のほうが高くなっている。

年代別にみると、「ごみの減量・リサイクルなど」は「30歳代」を除く「女性」のすべての年代で4割以上を占めている。「健康増進や予防接種、健康診断など」は「女性」の「20歳代」で最も高く5割以上を占めており、「女性」では年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。「男性」は「70歳以上」を除くすべての年代で3割以上を占めている。「府中の森芸術劇場や郷土の森博物館、生涯学習センター、美術館等の催しなど」は「女性」の「30歳代」から「50歳代」で高く4割以上を占めている。「市政の重要課題や新規施策、各種基本計画の概要など」は「男性」の「40歳代」から「60歳代」で高く4割以上を占めている。〔図5-24〕

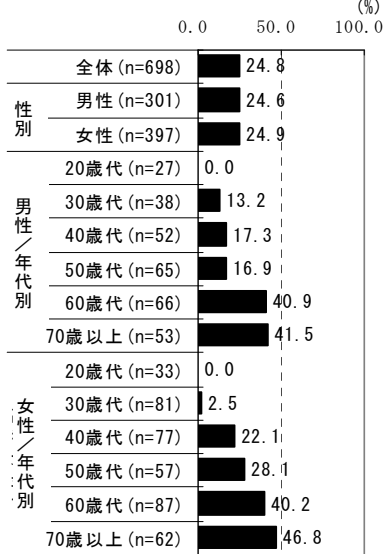
図5-24 「広報ふちゅう」で関心のある記事／性・年代別



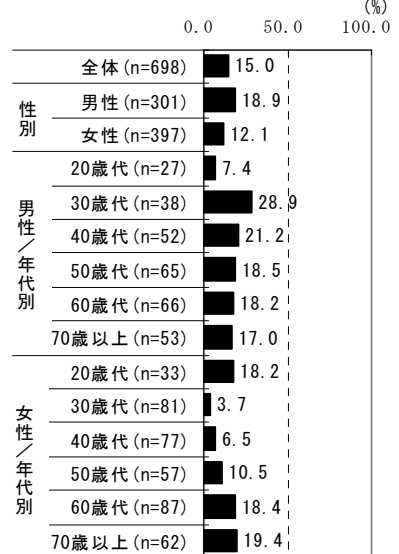
子育て支援や保育所、学童クラブの入所など (%)



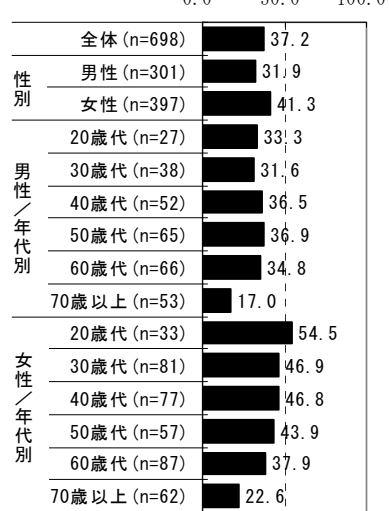
高齢者や障害者福祉、介護保険など (%)



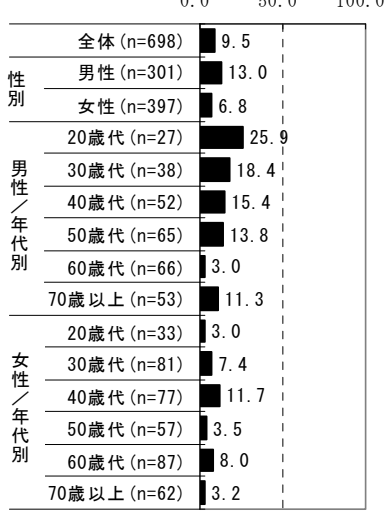
国民年金や国民健康保険など (%)



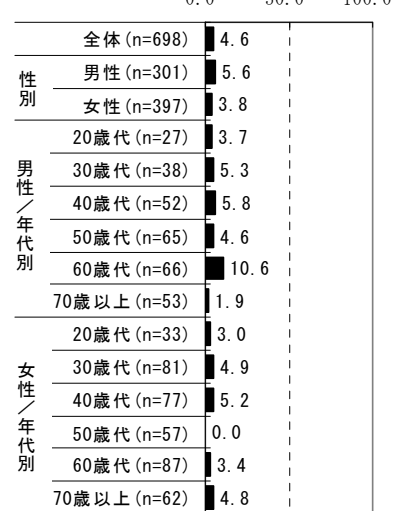
健康増進や予防接種、健康診断など (%)



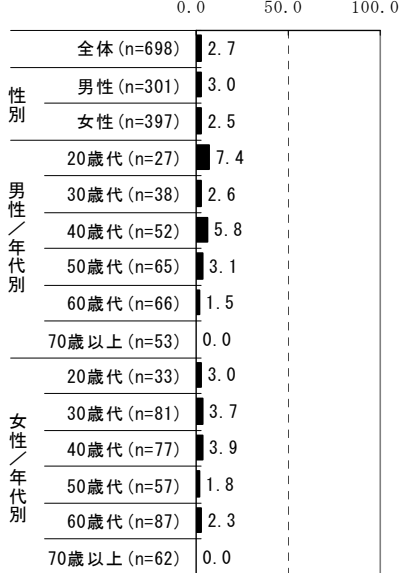
防災や防犯、交通安全など (%)



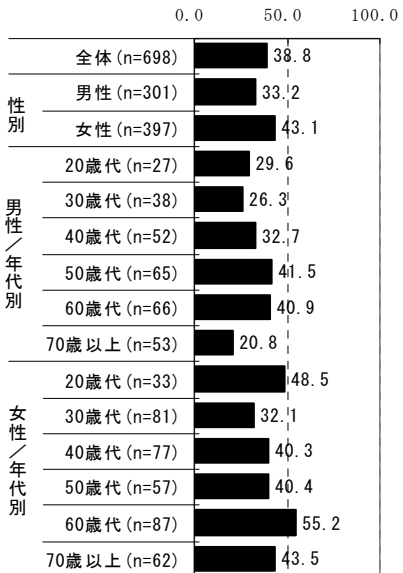
自然保護や環境保全、公害防止など (%)



緑化の推進や公園の整備など (%)

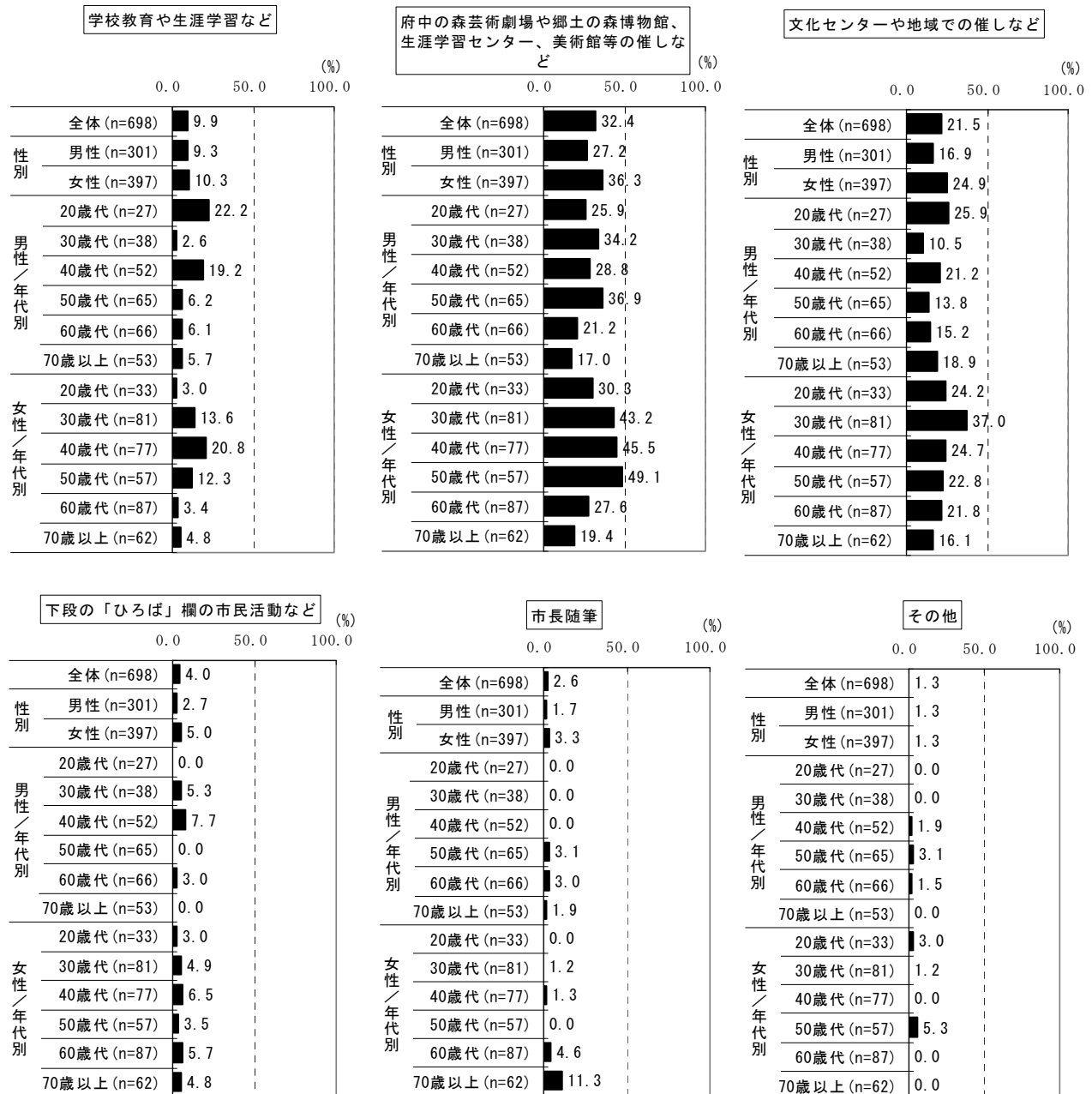


ごみの減量・リサイクルなど (%)



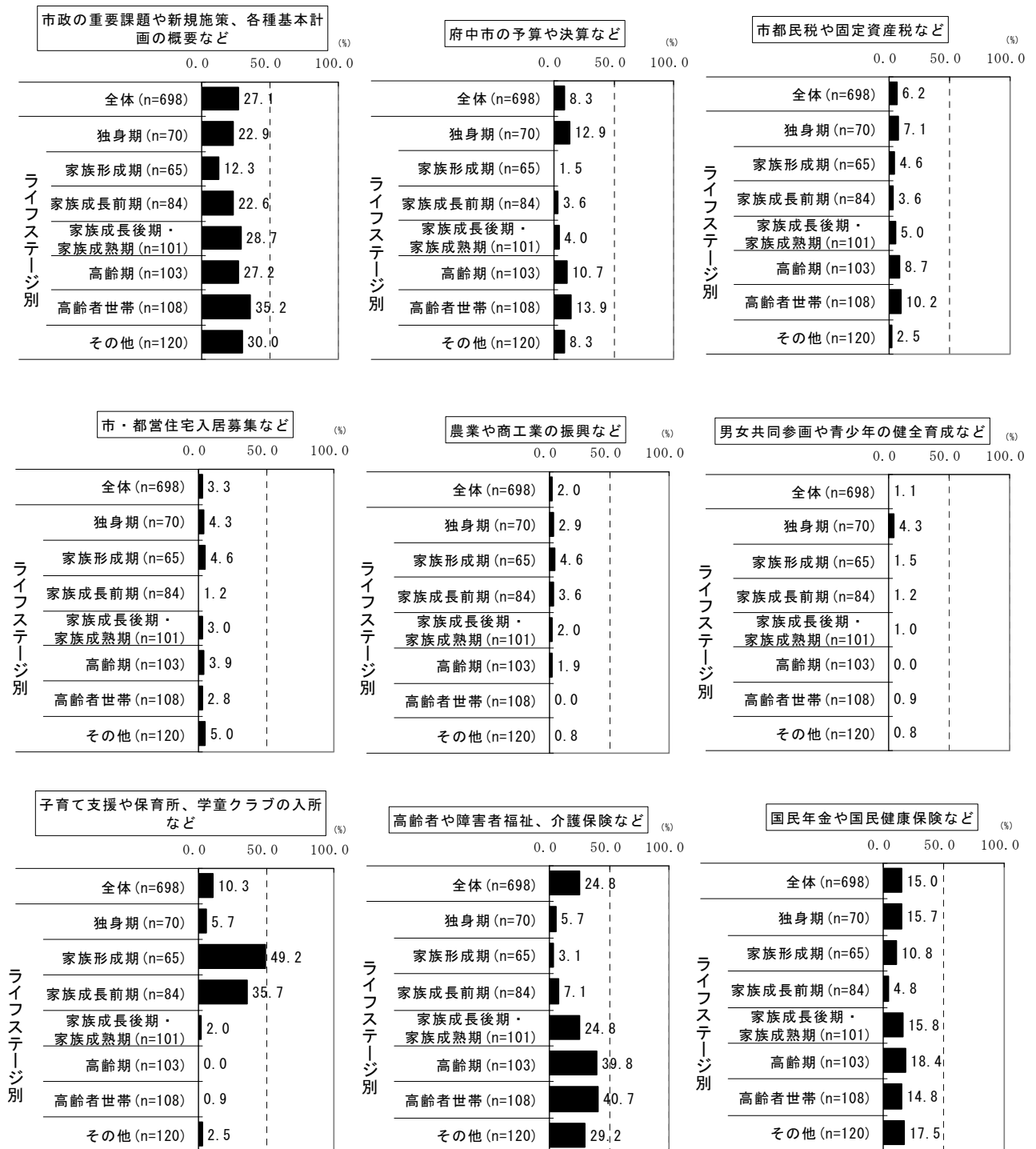
違反建築の防止や道路の整備状況など (%)

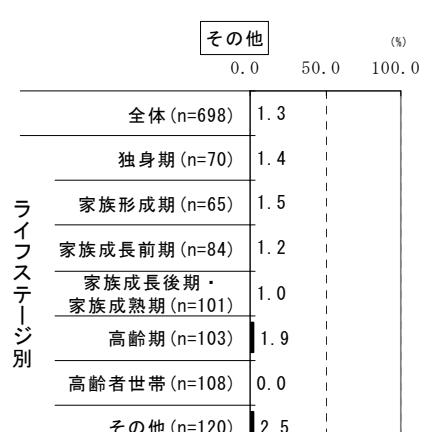
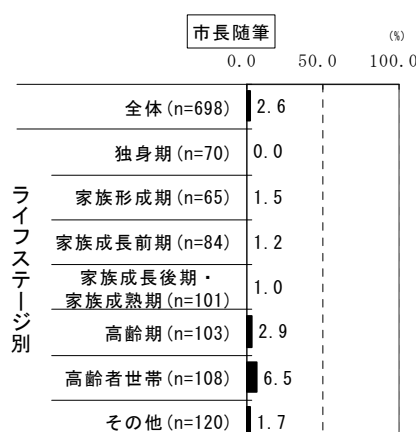
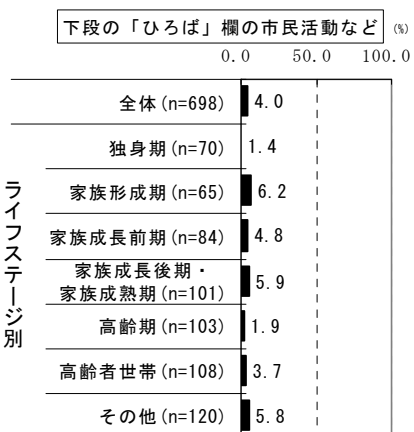
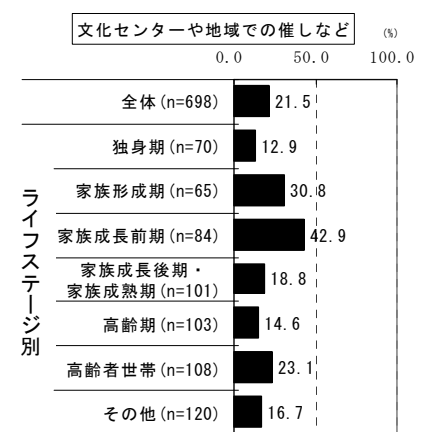
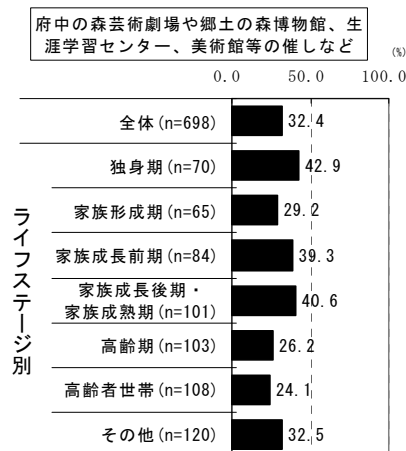
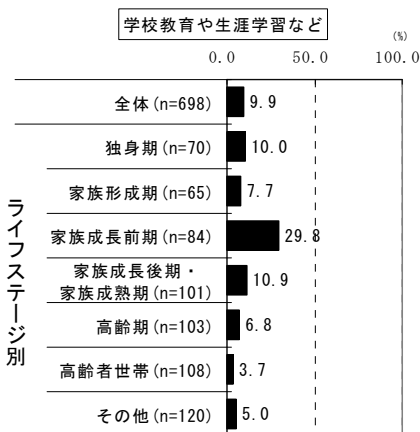
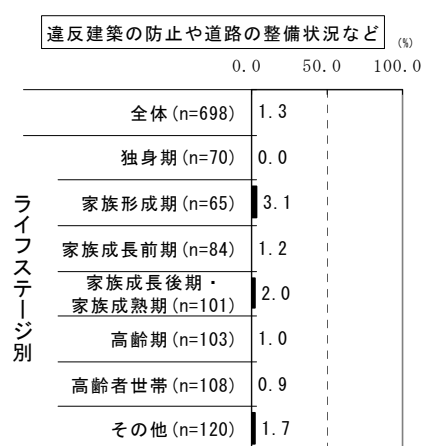
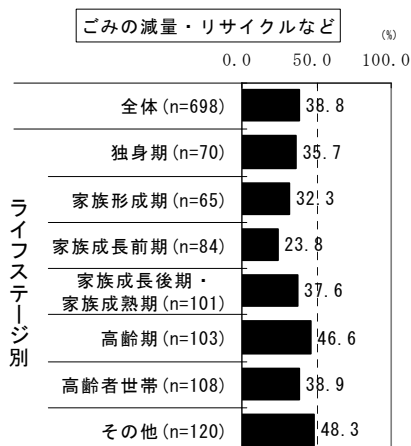
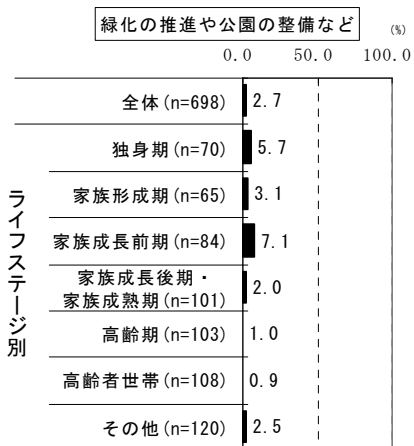
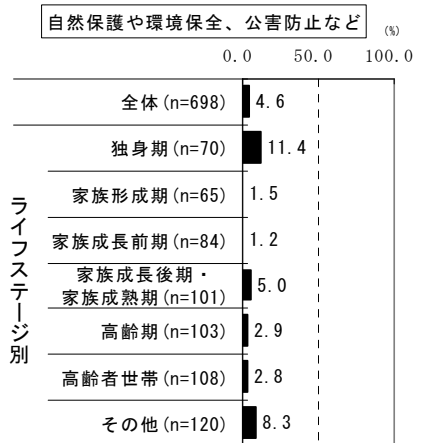
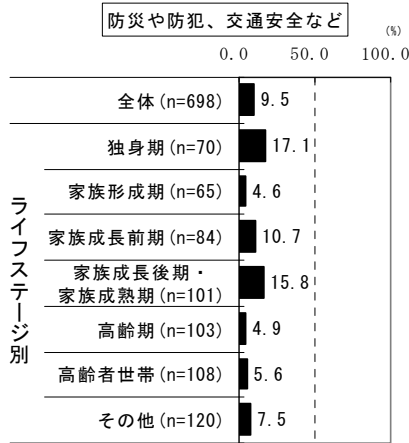
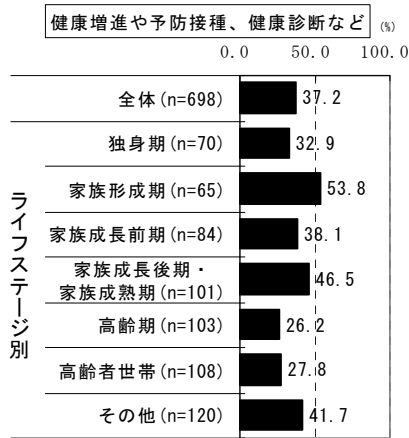




ライフステージ別にみると、「ごみの減量・リサイクルなど」は「その他」で最も高く5割近くを占め、次いで「高齢期」で高く4割半ばを占めている。「健康増進や予防接種、健康診断など」は「家族形成期」で最も高く5割以上を占め、次いで「家族成長後期・家族成熟期」となっている。「府中の森芸術劇場や郷土の森博物館、生涯学習センター、美術館等の催しなど」は「独身期」「家族成長後期・家族成熟期」「家族成長前期」の順に高くそれぞれ4割前後を占めている。「子育て支援や保育所、学童クラブの入所など」「文化センターや地域での催しなど」では「家族形成期」「家族成長前期」で高く、「高齢者や障害者福祉、介護保険など」では「高齢期」「高齢者世帯」で高くなっている。〔図5-25〕

図 5-25 「広報ふちゅう」で関心のある記事／ライフステージ別





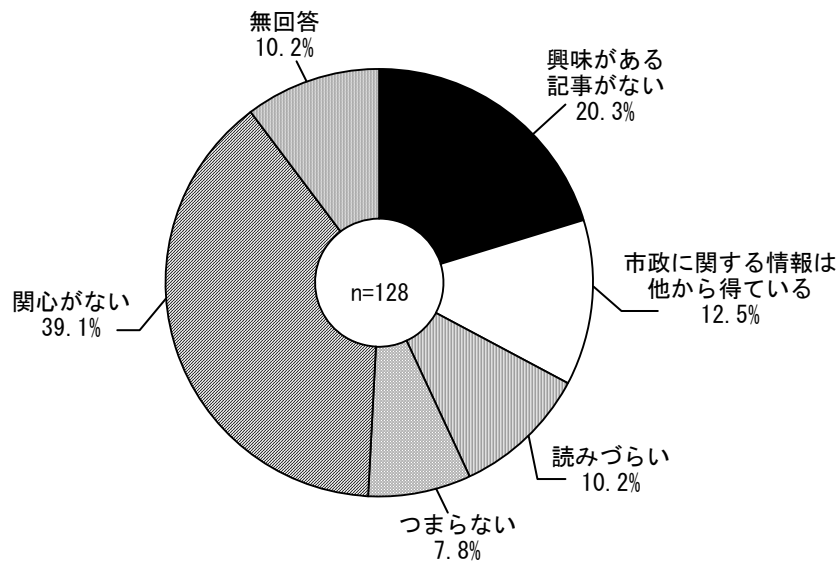
## (8)「広報ふちゅう」を読まない理由

「関心がない」が4割近くを占めている。

〔問 21 で「4」「5」とお答えの方に〕

問 21-3. あなたが「広報ふちゅう」を読まない理由は何ですか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(n=128)

図 5-26 「広報ふちゅう」を読まない理由

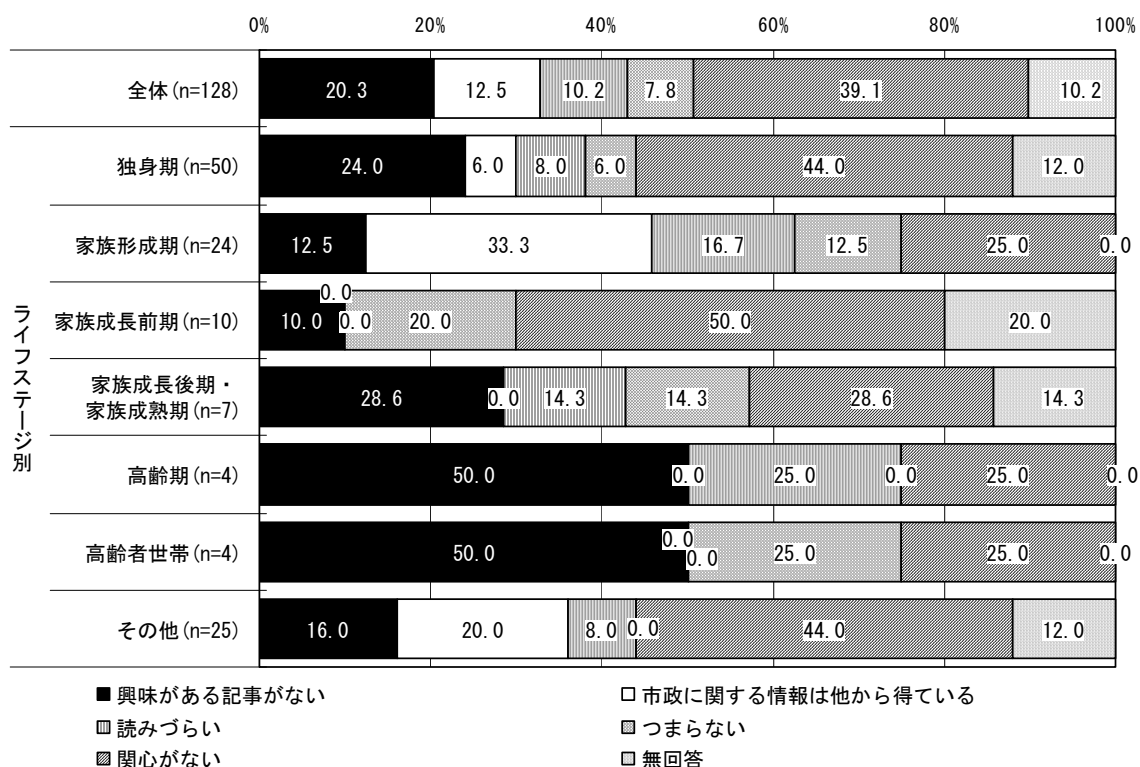


「広報ふちゅう」を読まない理由については、「関心がない」(39.1%)が最も高く、次いで「興味がある記事がない」(20.3%)「市政に関する情報は他から得ている」(12.5%)の順となっている。〔図 5-26〕



ライフステージ別にみると、「独身期」では「関心がない」が最も高く4割半ばを占めており、次いで「興味がある記事がない」となっている。「家族形成期」では「市政に関する情報は他から得ている」が最も高く、次いで「関心がない」となっている。なお、「家族成長前期」「家族成長後期・家族成熟期」「高齢期」「高齢者世帯」は母数が少ないため参考値とする。〔図 5-27〕

図 5-27 「広報ふちゅう」を読まない理由／ライフステージ別

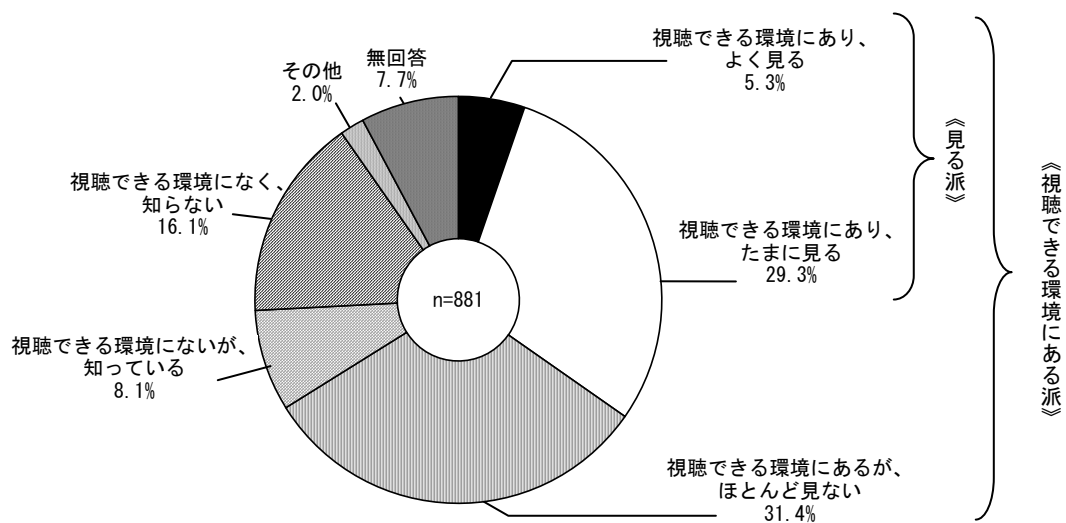


## (9)「まるごと府中」の視聴環境

「まるごと府中」を《見る派》が3割半ばを占めている。

問 22. J : COMの2チャンネルで放映しているテレビ広報「まるごと府中」についてお  
うかがいします。あなたは、この「まるごと府中」を視聴できる環境にありますか。  
また、実際に見たことはありますか。次の中から最も近いものを1つだけお答えく  
ださい。(n=881)

図 5-28 「まるごと府中」の視聴環境



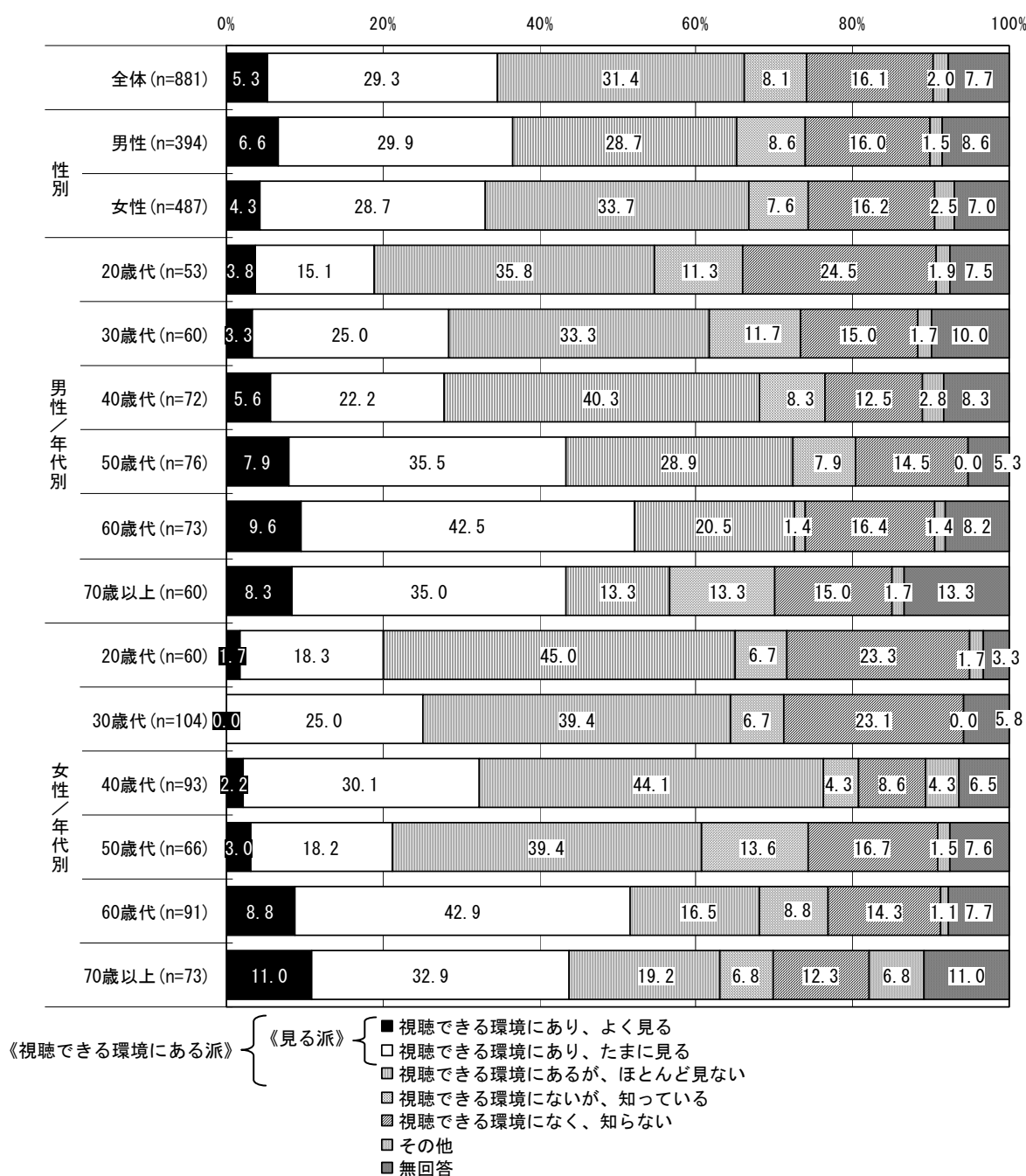
「まるごと府中」の視聴環境については、「視聴できる環境にあるが、ほとんど見ない」(31.4%)が最も高く、次いで「視聴できる環境にあり、たまに見る」(29.3%)「視聴できる環境がなく、知らない」(16.1%)の順となっている。

「視聴できる環境にあり、よく見る」と「視聴できる環境にあり、たまに見る」をあわせた《見る派》が3割半ばを占めている。また、「視聴できる環境にあり、よく見る」「視聴できる環境にあり、たまに見る」「視聴できる環境にあるが、ほとんど見ない」をあわせた《視聴できる環境にある派》が6割半ばを占めている。〔図 5-28〕

性別にみると、《視聴できる環境にある派》は「男性」より「女性」のほうが高くなっている。一方、《見る派》は「女性」より「男性」のほうが高くなっている。

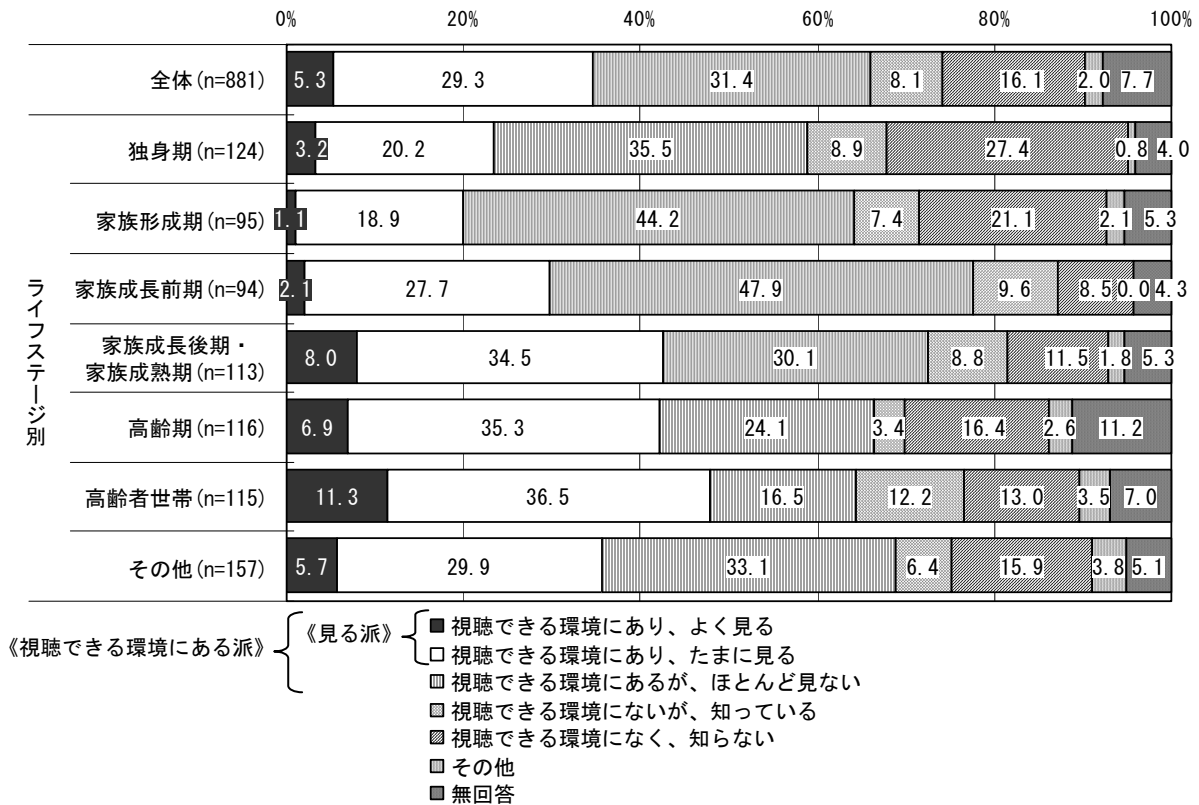
年代別にみると「視聴できる環境にあり、よく見る」は「女性」の「70歳以上」で最も高く、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「視聴できる環境にあり、たまに見る」は「男性」「女性」ともに「60歳代」で最も高く4割以上を占めている。「視聴できる環境にあるが、ほとんど見ない」は、「女性」の「20歳代」で最も高く、次いで「女性」の「40歳代」、「男性」の「40歳代」の順で高くそれぞれ4割以上を占めている。「視聴できる環境にないが、知っている」は「男性」の「20歳代」、「女性」の「20歳代」「30歳代」で高く2割以上を占めている。〔図5-29〕

図5-29 「まるごと府中」の視聴環境／性・年代別



ライフステージ別にみると、「視聴できる環境にあり、よく見る」と「視聴できる環境にあり、たまに見る」の合計は「高齢者世帯」で最も高く、ライフステージが上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「視聴できる環境にあるが、ほとんど見ない」は「家族形成期」と「家族成長前期」で高く4割半ばを占めている。〔図 5-30〕

図 5-30 「まるごと府中」の視聴環境／ライフステージ別



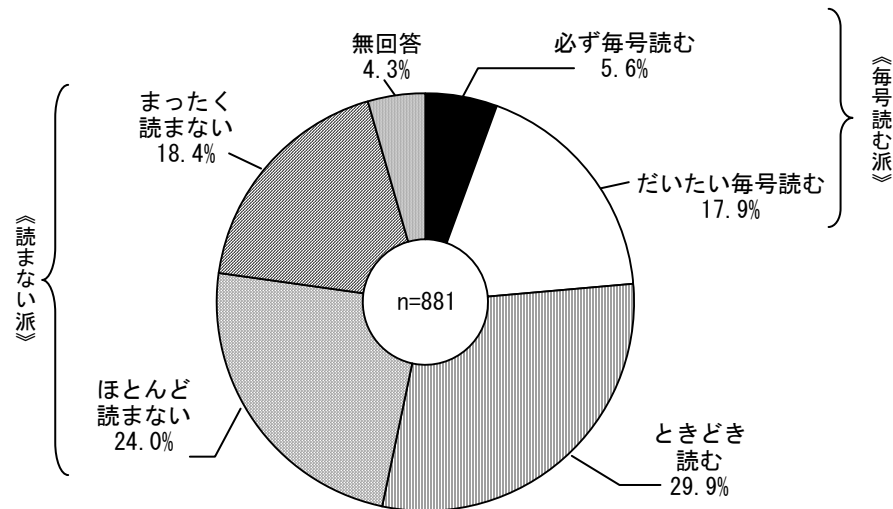
## 6 府中市議会報「ふちゅう市議会だより」

### (1) 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度

《読まない派》が《毎号読む派》を上回っている。

問 23. 府中市議会では、活動内容を市民にお知らせし、ご理解いただくために「ふちゅう市議会だより」を年5回発行しています。あなたがこの「ふちゅう市議会だより」を読む頻度を、次の中から1つだけ選んでください。(n=881)

図 6-1 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度



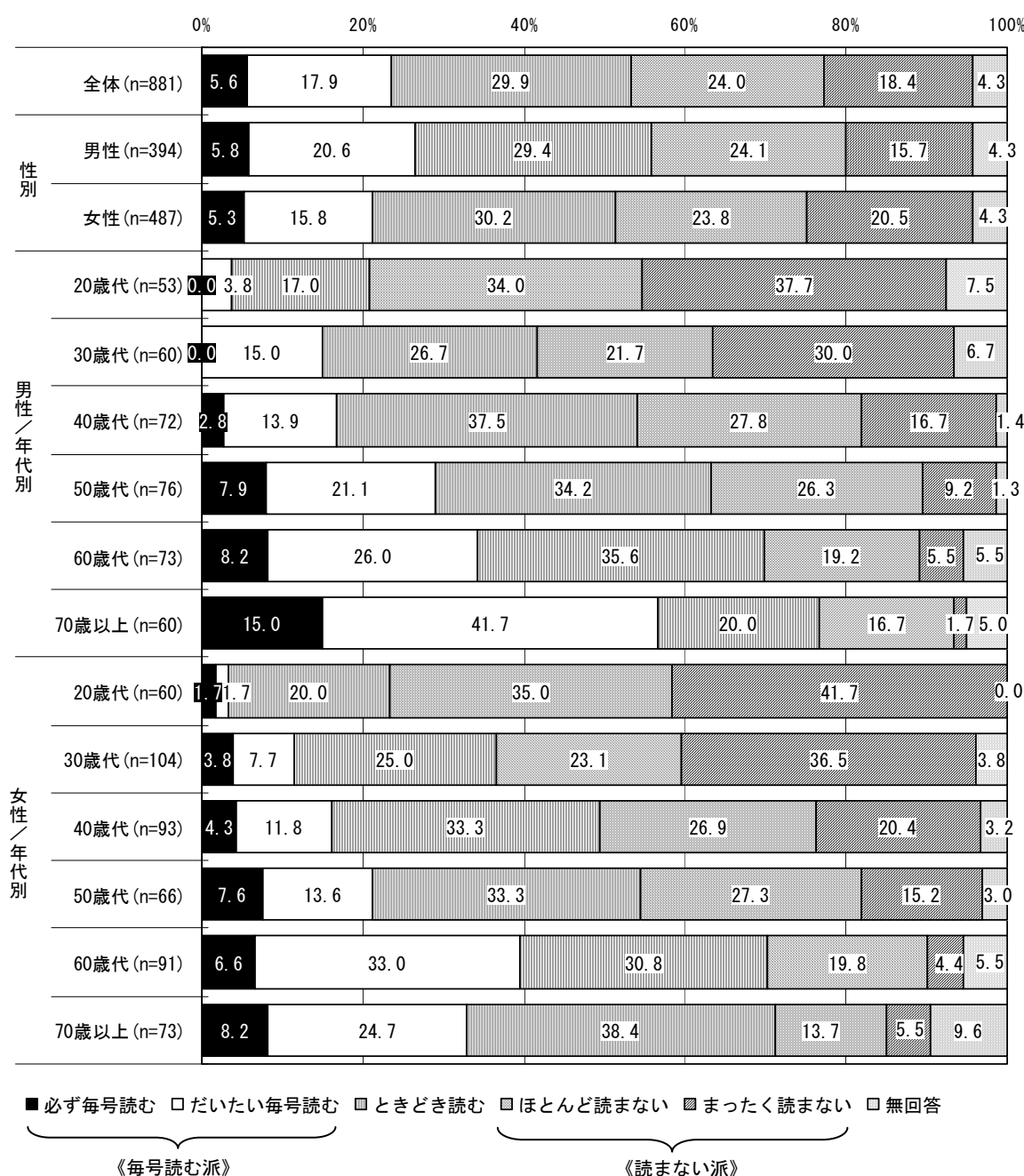
「ふちゅう市議会だより」を読む頻度は「ときどき読む」(29.9%)が最も高く、次いで「ほとんど読まない」(24.0%)「まったく読まない」(18.4%)「だいたい毎号読む」(17.9%)の順となっている。

「必ず毎号読む」と「だいたい毎号読む」をあわせた《毎号読む派》が2割半ばを占めている。また、「ほとんど読まない」と「まったく読まない」をあわせた《読まない派》が4割以上を占めている。[図 6-1]

性別にみると、《毎号読む派》は「女性」より「男性」のほうが高くなっている。一方、《読まない派》は「男性」より「女性」のほうが高くなっている。

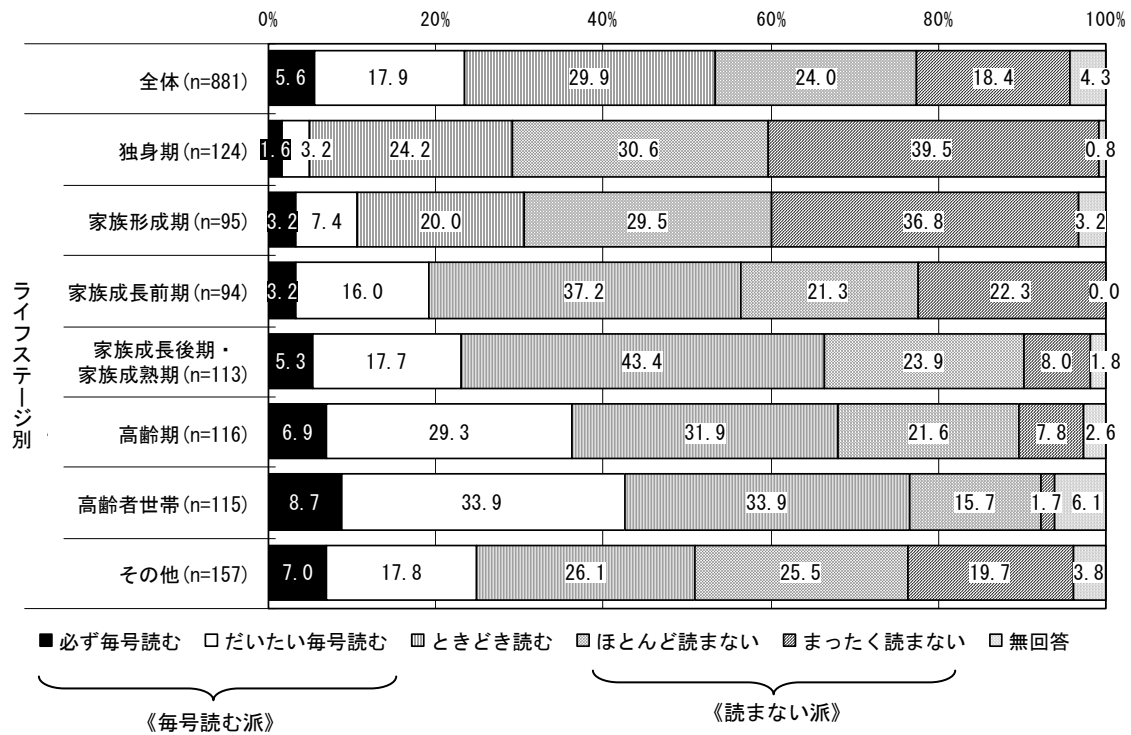
年代別にみると、《毎号読む派》は「男性」の「70歳以上」で最も高く5割半ばを占め、「男性」「女性」ともに年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。一方、《読まない派》は「男性」「女性」ともに「20歳代」が高く7割以上を占め、年代が下がるにつれて高くなる傾向がみられる。「ときどき読む」は「男性」「女性」ともに「40歳代」から「60歳代」で3割以上を占め、「20歳代」では2割前後を占めている。〔図6-2〕

図6-2 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度／性・年代別



ライフステージ別にみると、《毎号読む派》はライフステージが上がるにつれて高くなる傾向がみられる。《読まない派》は「独身期」、「家族形成期」で高く7割前後を占めている。「ときどき読む」は「家族成長後期・家族成熟期」で最も高く4割半ばを占めている。〔図6-3〕

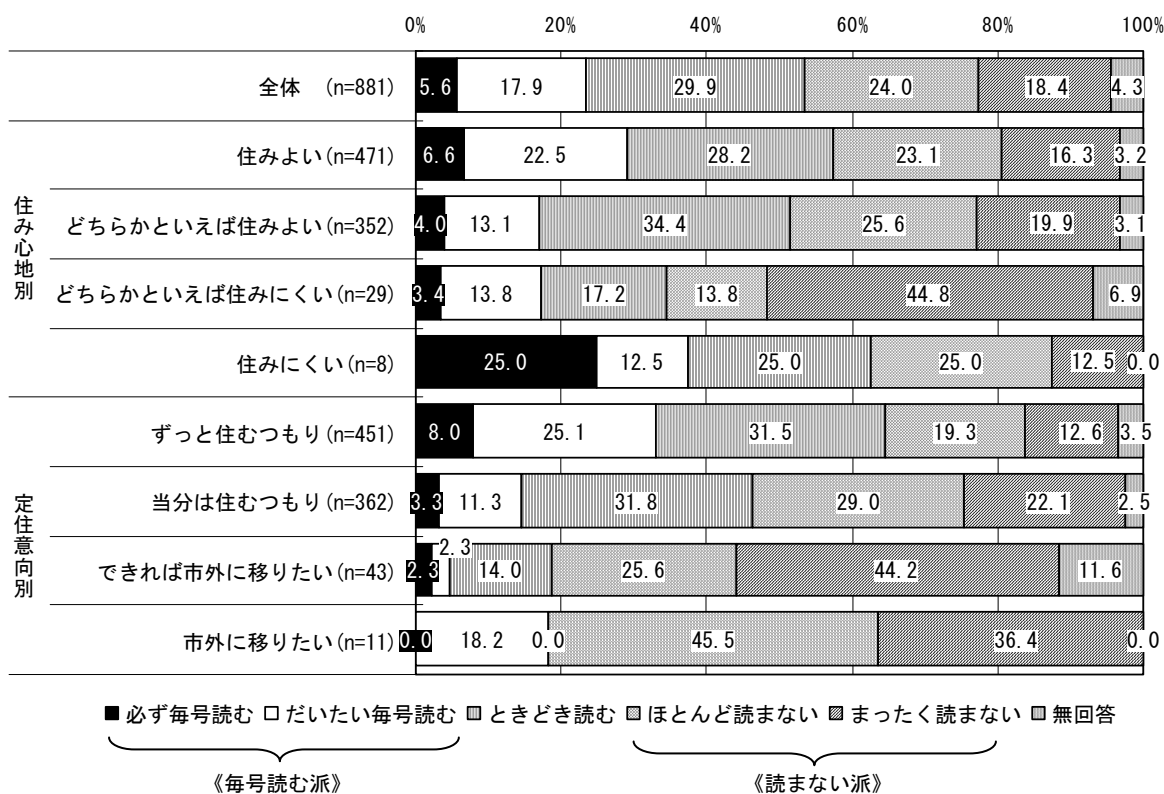
図6-3 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度／ライフステージ別



住み心地別にみると、《毎号読む派》は「住みよい」が最も高く3割近くを占めている。「まったく読まない」は「どちらかといえば住みにくい」で最も高く4割半ばを占めており、「ときどき読む」は「どちらかといえば住みよい」で最も高く3割半ばを占めている。なお、「住みにくい」は母数が少ないため参考値とする。

定住意向別にみると、《毎号読む派》は「ずっと住むつもり」で最も高く3割半ばを占めており、定住意向が高いほど高くなる傾向がみられる。《読まない派》は「できれば市外に移りたい」で最も高く7割近くを占めており、定住意向が低いほど高くなる傾向がみられる。なお、「市外に移りたい」は母数が少ないため参考値とする。〔図6-4〕

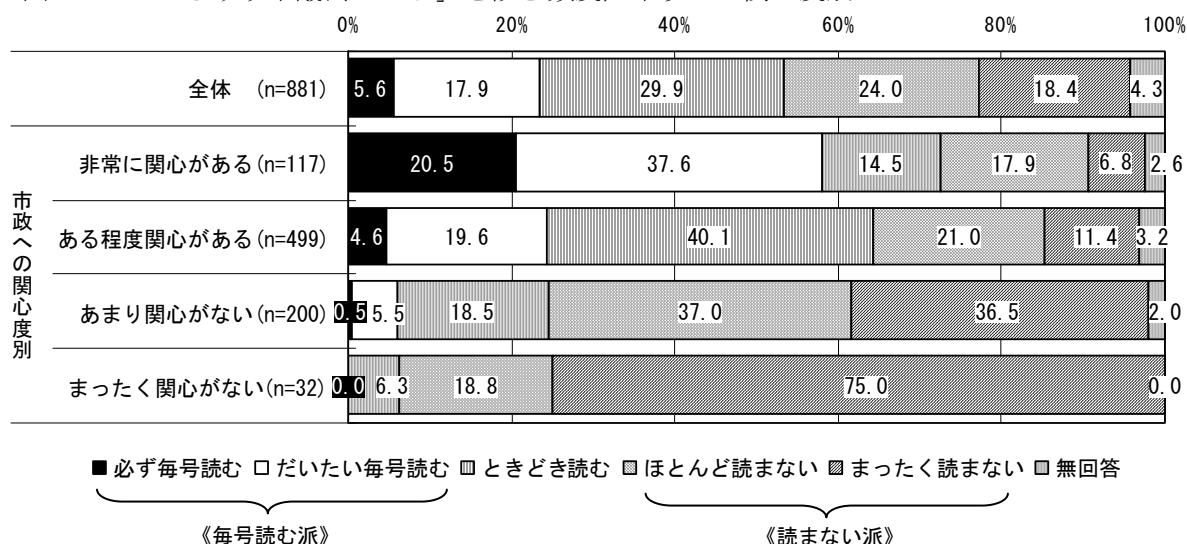
図6-4 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度／住み心地・定住意向別





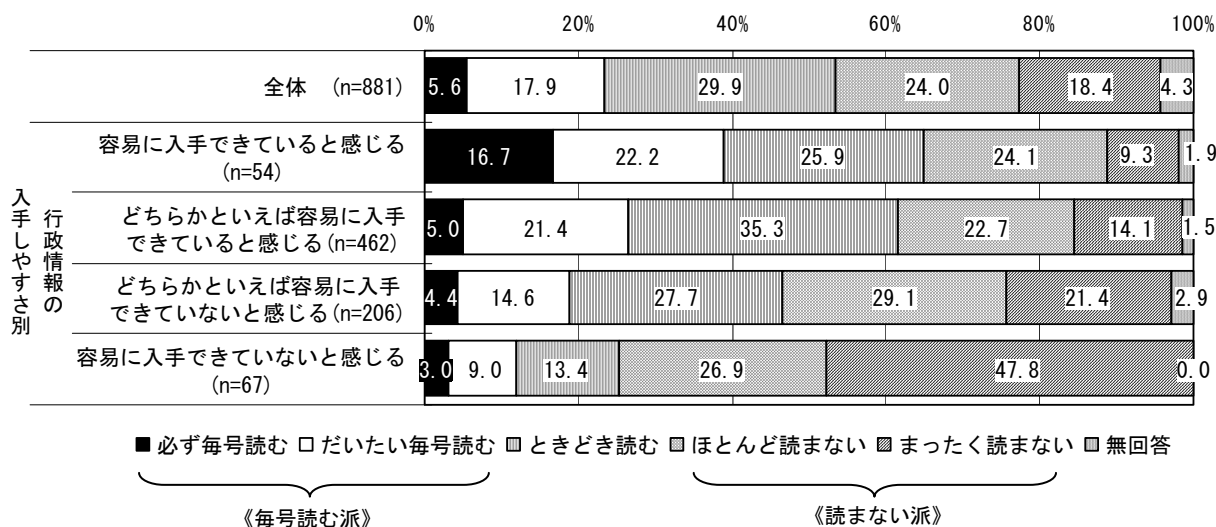
市政への関心度別にみると、《毎号読む派》は「非常に関心がある」で最も高く6割近くを占めており、関心度が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。《読まない派》は「まったく関心がない」で最も高く9割以上を占めている。次いで「あまり関心がない」が7割以上を占めており、関心度が低いほど高くなる傾向がみられる。〔図6-5〕

図6-5 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度／市政への関心度別



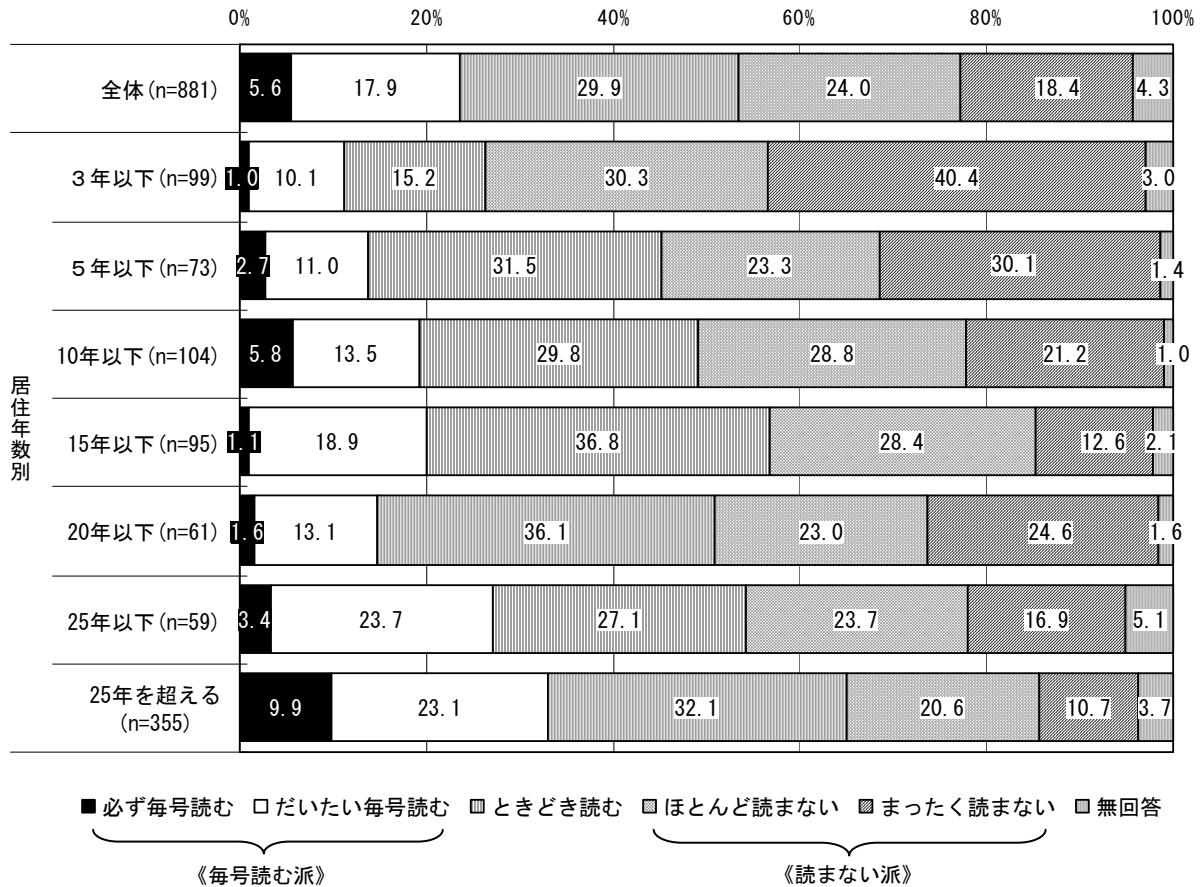
行政情報の入手しやすさ別にみると、《毎号読む派》は「容易に入手できていると感じる」で最も高く4割近くを占めており、行政情報の入手が容易と感じているほど高くなる傾向がみられる。一方、《読まない派》は「容易に入手できていないと感じる」で最も高く7割半ばを占めており、行政情報の入手が容易ではないと感じているほど読む頻度が低くなる傾向がみられる。〔図6-6〕

図6-6 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度／行政情報の入手しやすさ別



居住年数別にみると、《毎号読む派》は「25年を超える」で最も高く3割以上を占めており、次いで「25年以下」が2割半ばを占めている。《読まない派》は「3年以下」で最も高く7割以上を占めている。〔図6-7〕

図6-7 「ふちゅう市議会だより」を読む頻度／居住年数別



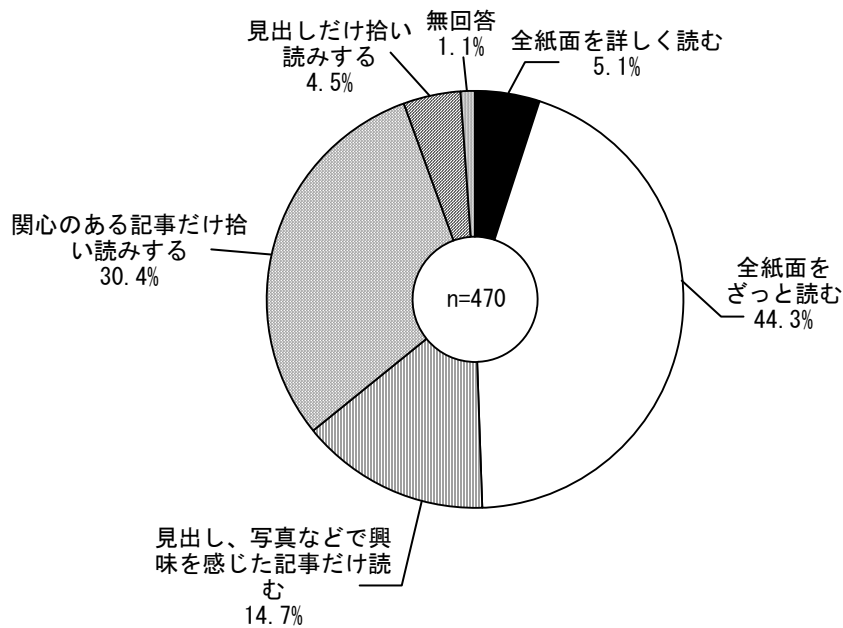
## (2)「ふちゅう市議会だより」の読み方

「全紙面をざっと読む」が最も高く、4割半ばを占めている。

〔問 23 で「1」「2」「3」とお答えの方に〕

問 23-1. あなたは、どのように「ふちゅう市議会だより」を読みますか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(n=470)

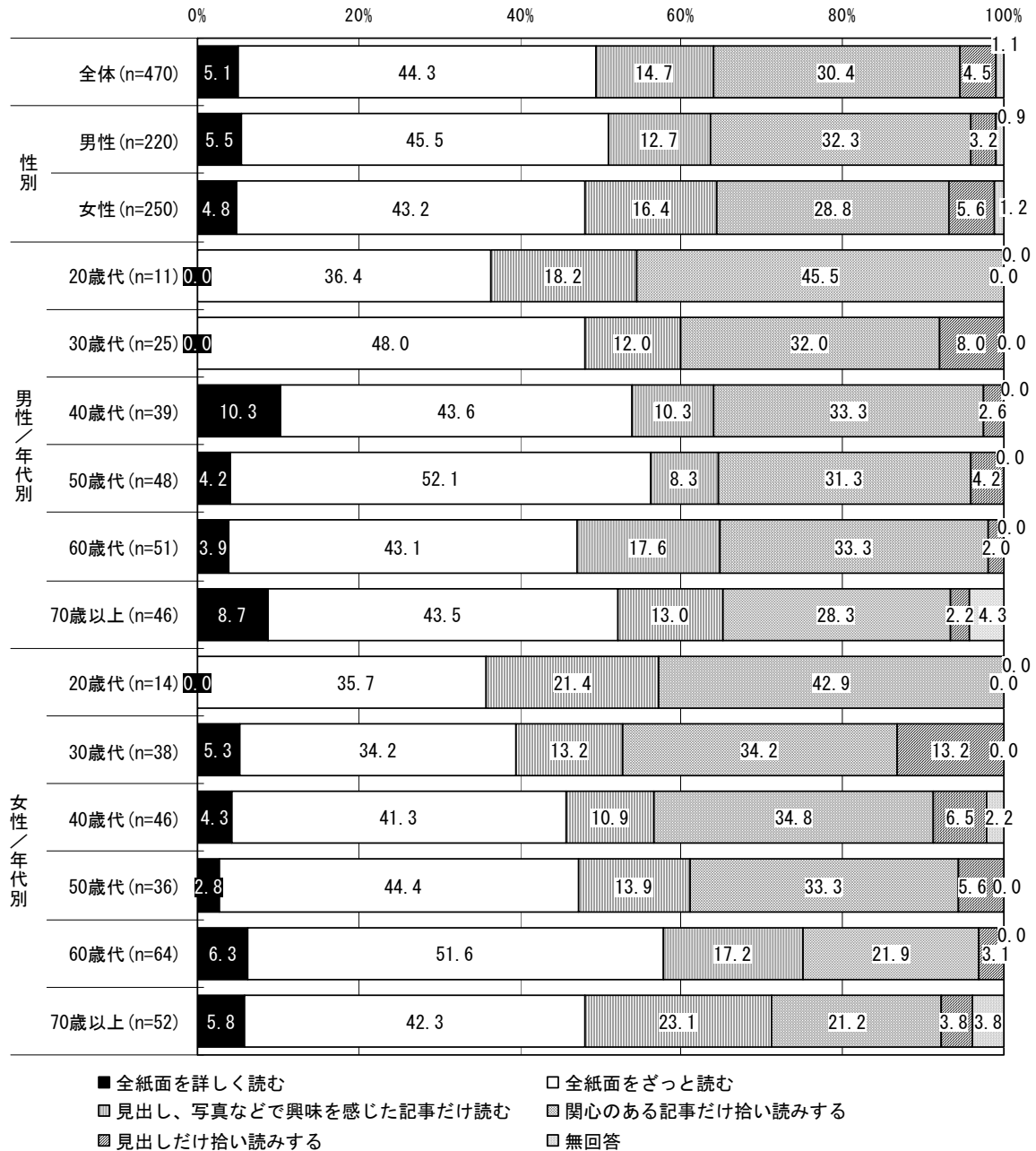
図 6-8 「ふちゅう市議会だより」の読み方



「ふちゅう市議会だより」の読み方は、「全紙面をざっと読む」(44.3%)が最も高く、次いで「関心のある記事だけ拾い読みする」(30.4%)「見出し、写真などで興味を感じた記事だけ読む」(14.7%)の順となっている。〔図 6-8〕

性・年代別でみると、「全紙面をざっと読む」は「男性」の「50 歳代」、「女性」の「60 歳代」で高く 5 割以上を占めている。「関心のある記事だけ拾い読みする」は「男性」「女性」とともに「20 歳代」で最も高く 4 割半ばを占めており、また、「男性」の「30 歳代」から「60 歳代」、「女性」の「30 歳代」から「50 歳代」でも 3 割以上を占めている。「見出し、写真などで興味を感じた記事だけ読む」は「女性」の「70 歳以上」で最も高く、次いで「女性」の「20 歳代」となっており、それぞれ 2 割以上を占めている。〔図 6-9〕

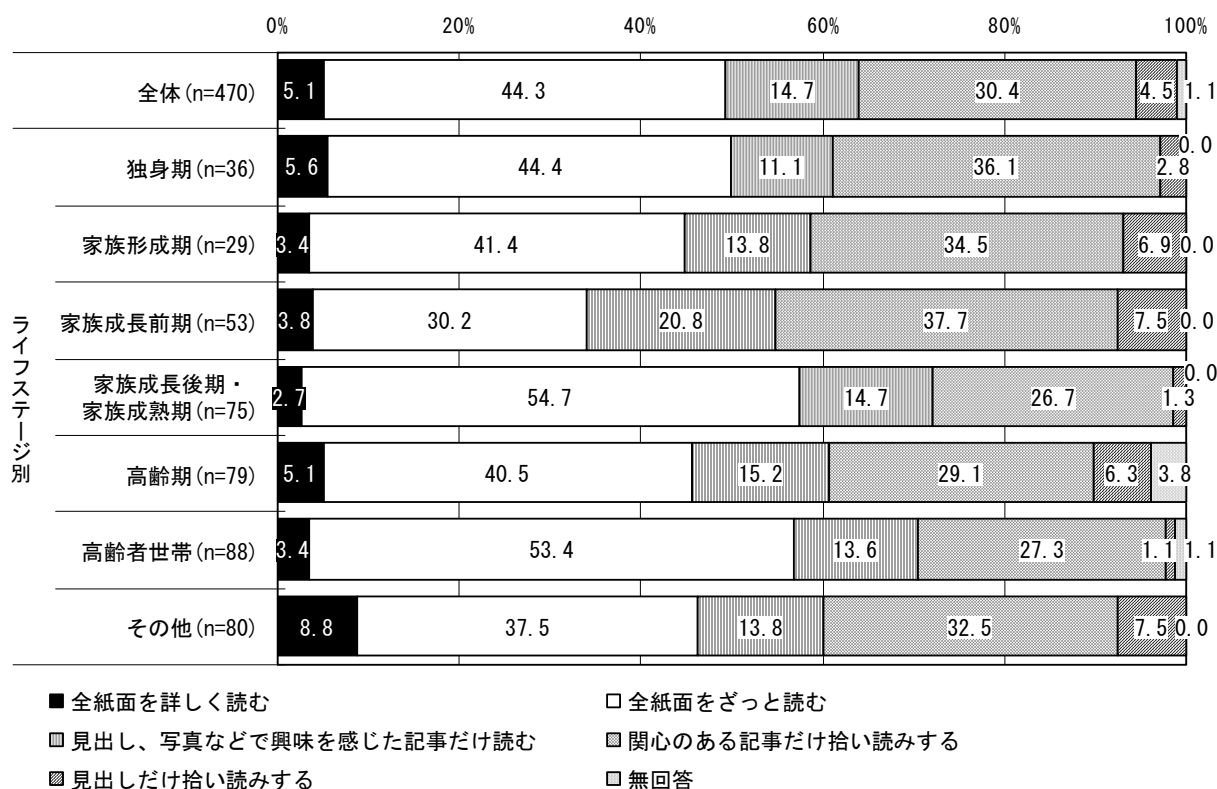
図 6-9 「ふちゅう市議会だより」の読み方／性・年代別



ライフステージ別でみると、「全紙面をざっと読む」は「家族成長後期・家族成熟期」「高齢者世帯」で高く5割以上を占めている。「関心のある記事だけ拾い読みする」は「家族成長前期」「独身期」「家族形成期」「その他」の順に高く、それぞれ3割以上を占めている。

〔図 6-10〕

図 6-10 「ふちゅう市議会だより」の読み方／ライフステージ別



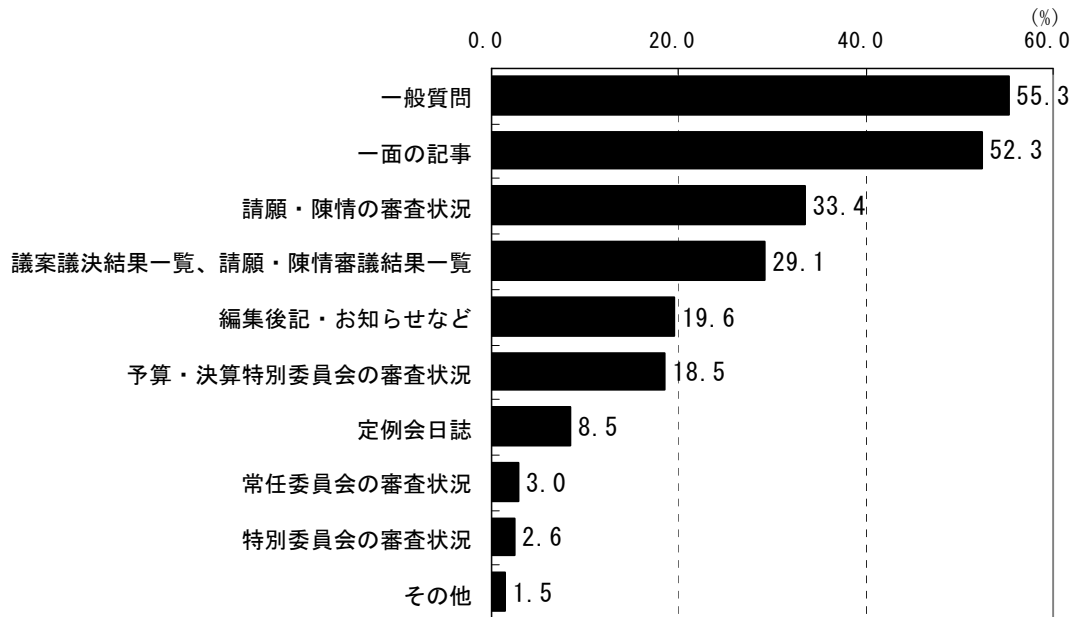
### (3)「ふちゅう市議会だより」で関心のある記事

「一般質問」「一面の記事」が5割以上を占めている。

〔問 23 で「1」「2」「3」とお答えの方に〕

問 23-2. あなたが「ふちゅう市議会だより」で特に関心をもって読む記事は、どのような内容のものですか。次の中から3つまで選んでください。(n=470)

図 6-11 「ふちゅう市議会だより」で関心のある記事（複数回答）

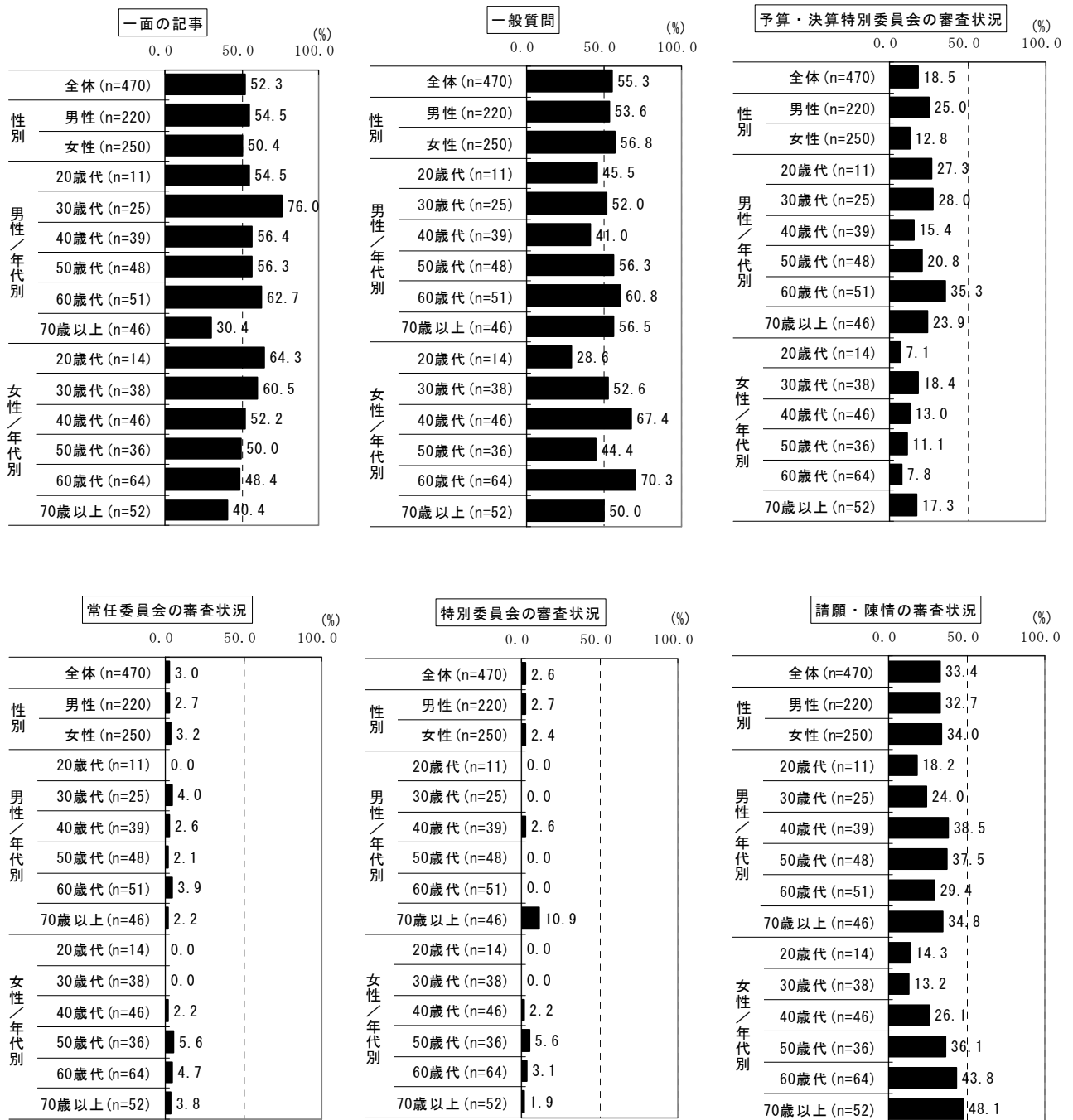


「ふちゅう市議会だより」で関心のある記事は、「一般質問」（55.3%）が最も高く、次いで「一面の記事」（52.3%）「請願・陳情の審査状況」（33.4%）の順となっている。〔図 6-11〕

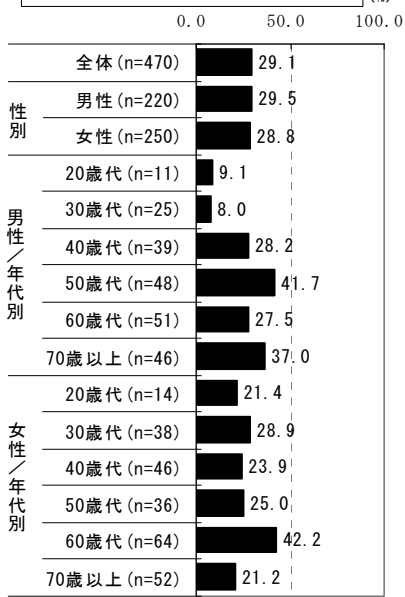
性別にみると、「予算・決算特別委員会の審査状況」は「女性」より「男性」のほうが高くなっている。

年代別にみると、「一般質問」は「女性」の「40歳代」「60歳代」で高く7割前後を占めている。「一面の記事」は「男性」の「30歳代」で最も高く7割半ばを占めており、次いで「女性」の「20歳代」で高く、「女性」では年代が下がるにつれて高くなる傾向がみられる。「請願・陳情の審査状況」は「女性」の「60歳代」「70歳以上」で高く4割以上を占めている。〔図6-12〕

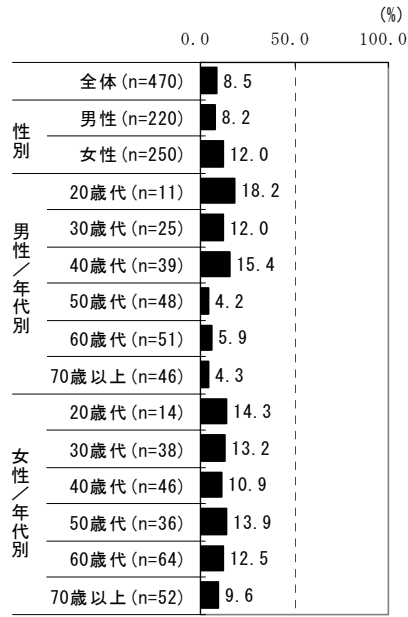
図6-12 「ふちゅう市議会だより」で関心のある記事／性・年代別



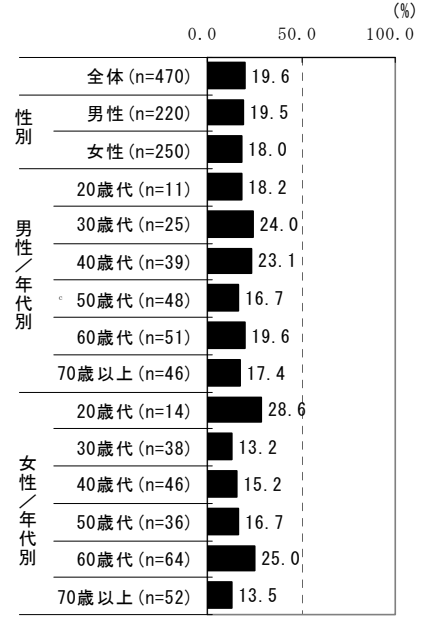
議案議決結果一覧、請願・陳情審議結果一覧 (%)



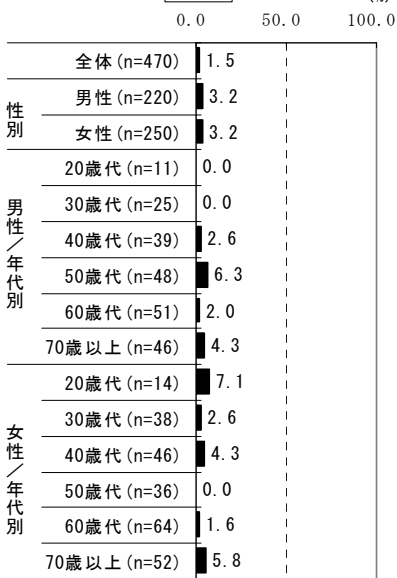
定例会日誌 (%)



編集後記・お知らせなど (%)



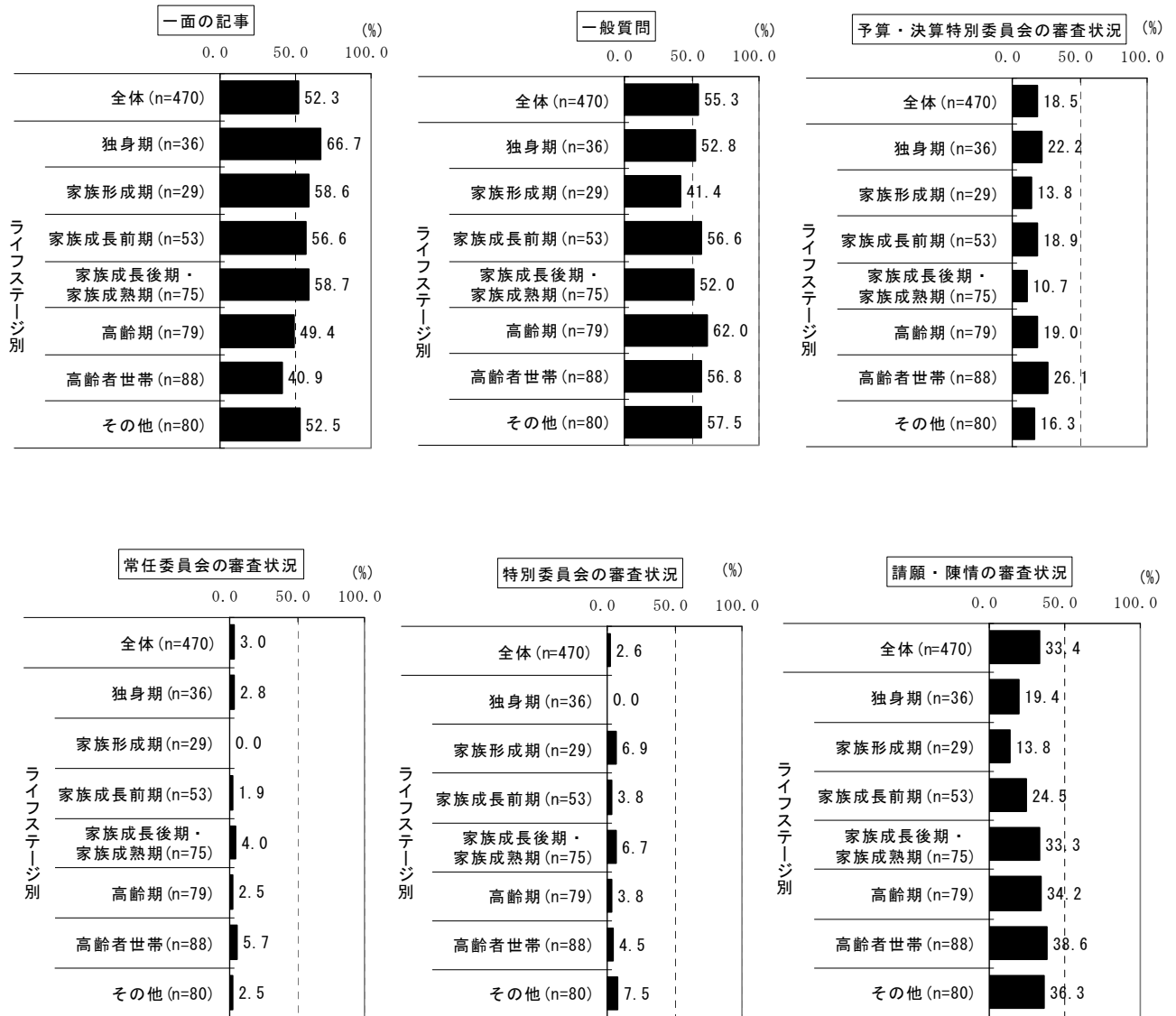
その他 (%)



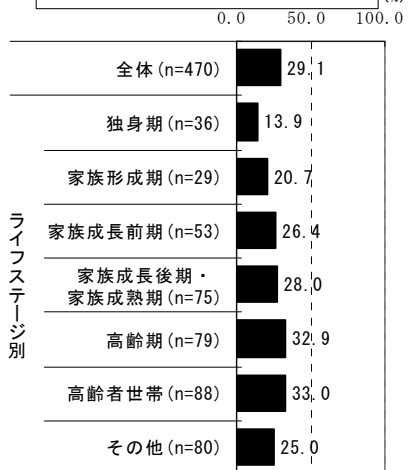


ライフステージ別にみると、「一般質問」は「高齢期」が最も高く6割以上を占めている。「一面の記事」は「独身期」が最も高く、ライフステージが上がるにつれて低くなる傾向がみられる。「請願・陳情の審査状況」は「高齢者世帯」で最も高く、ライフステージが上がるにつれて高くなる傾向がみられる。〔図 6-13〕

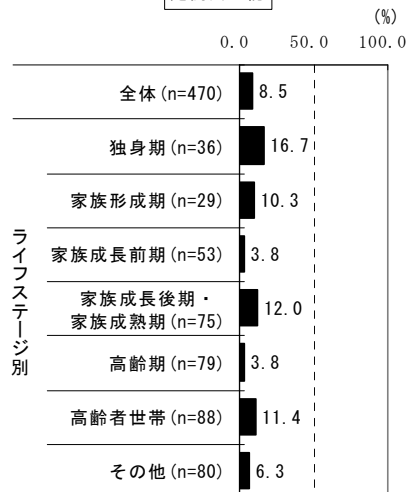
図 6-13 「ふちゅう市議会だより」で関心のある記事／ライフステージ別



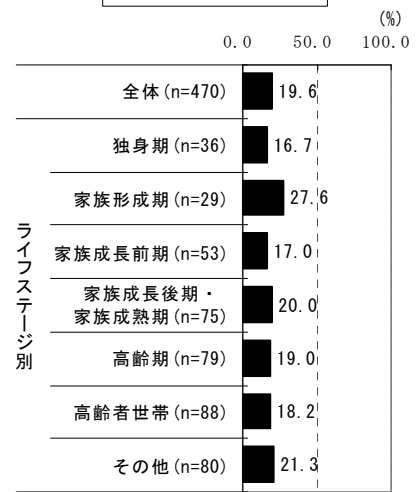
議案議決結果一覧、請願・陳情審議結果一覧 (%)



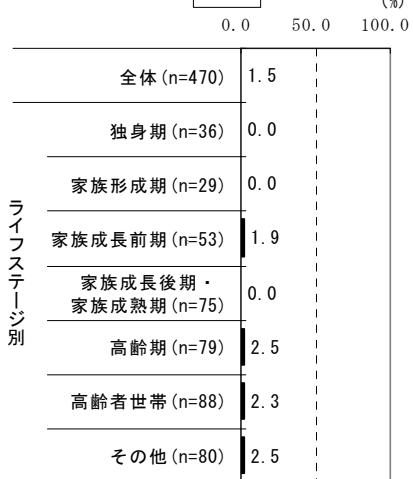
定例会日誌 (%)



編集後記・お知らせなど (%)



その他 (%)



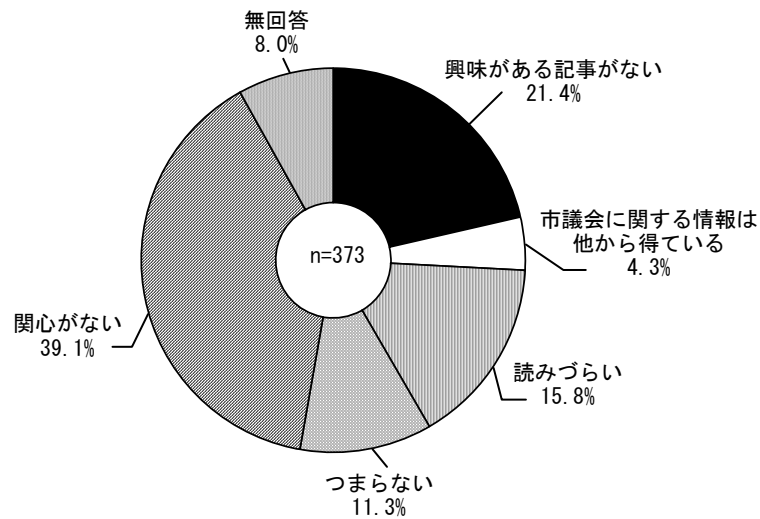
#### (4)「ふちゅう市議会だより」を読まない理由

「関心がない」が4割近くを占めている。

〔問 23 で「4」「5」とお答えの方に〕

問 23-3. あなたが「ふちゅう市議会だより」を読まない理由は何ですか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(n=373)

図 6-14 「ふちゅう市議会だより」を読まない理由

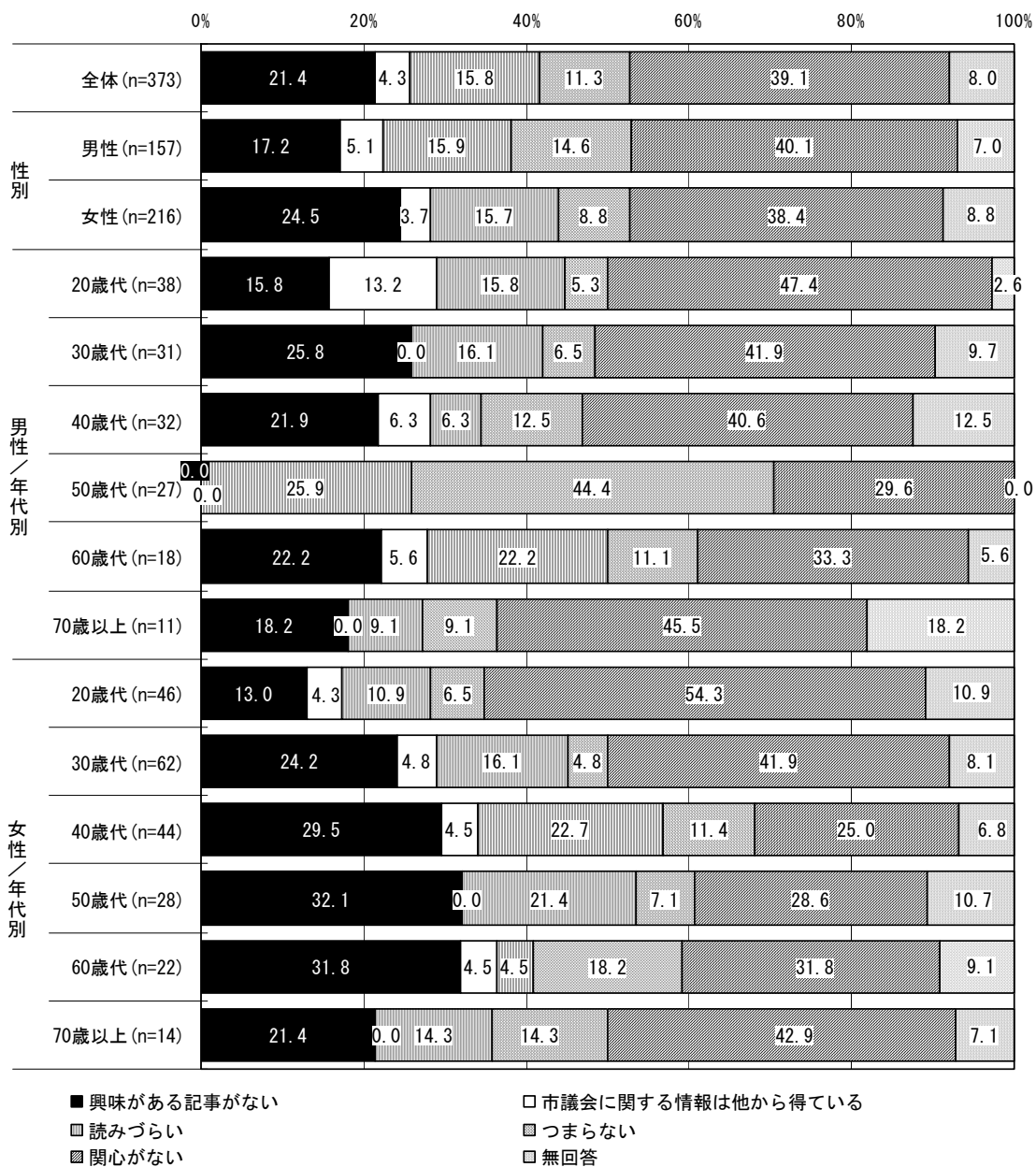


「ふちゅう市議会だより」を読まない理由は、「関心がない」(39.1%)が最も高く、次いで「興味がある記事がない」(21.4%)「読みづらい」(15.8%)の順となっている。〔図 6-14〕

性別で見ると、「興味がある記事がない」は「男性」より「女性」のほうが高くなっている。一方、「つまらない」は「女性」より「男性」のほうが高くなっている。

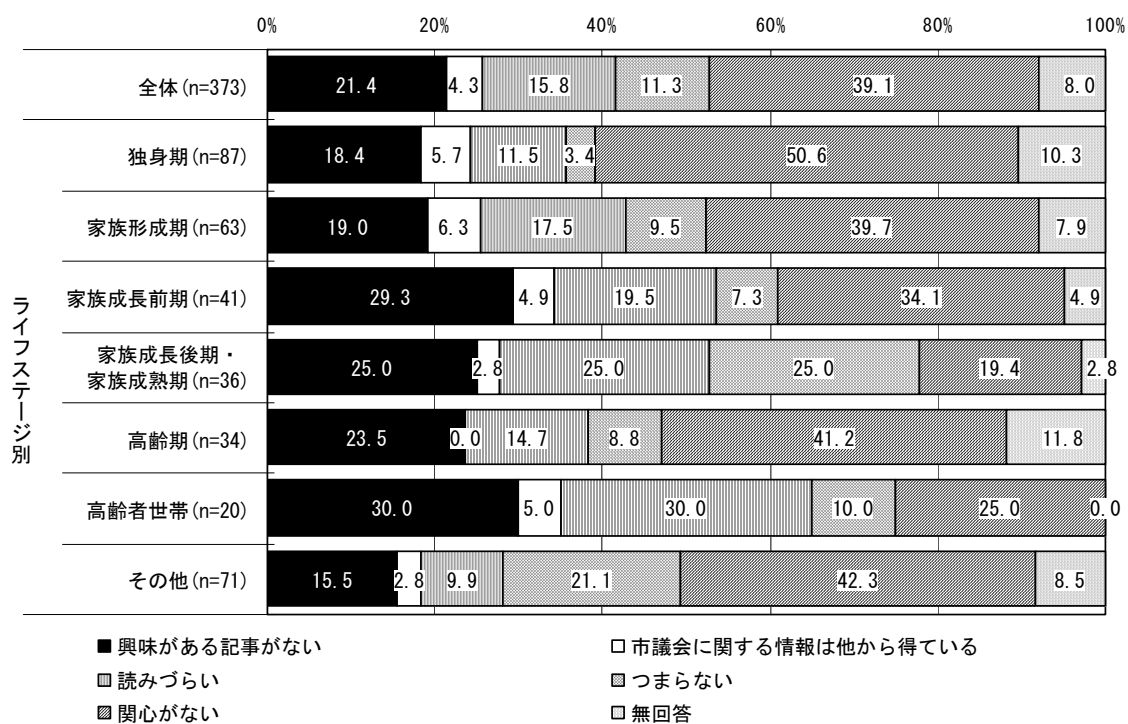
年代別で見ると、「関心がない」は「女性」の「20歳代」で最も高く5割半ばを占めている。また、「男性」の「20歳代」「30歳代」「40歳代」「70歳以上」、「女性」の「30歳代」「70歳以上」で高くそれぞれ4割以上を占めている。「興味がある記事がない」は「男性」より「女性」のほうが高く、「女性」の「40歳代」から「60歳代」で3割前後を占めている。「つまらない」は「男性」の「50歳代」で最も高く4割半ばを占めている。〔図6-14〕

図6-14 「ふちゅう市議会だより」を読まない理由／性・年代別



ライフステージ別でみると、「関心がない」は「独身期」で最も高く5割以上を占めており、次いで「その他」「高齢期」の順となっている。「興味がある記事がない」は「高齢者世帯」が最も高く、次いで「家族成長前期」の順に高くそれぞれ3割近くを占めている。〔図6-15〕

図6-15 「ふちゅう市議会だより」を読まない理由／ライフステージ別

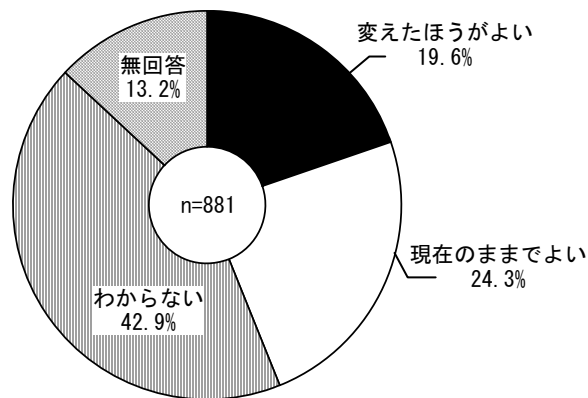


### (5)「ふちゅう市議会だより」の紙面構成

「現在のままでよい」が「変えたほうがよい」を上回っている。

問 24. あなたは、「ふちゅう市議会だより」の紙面構成について、今後どうあるべきと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=881)

図 6-16 「ふちゅう市議会だより」の紙面構成

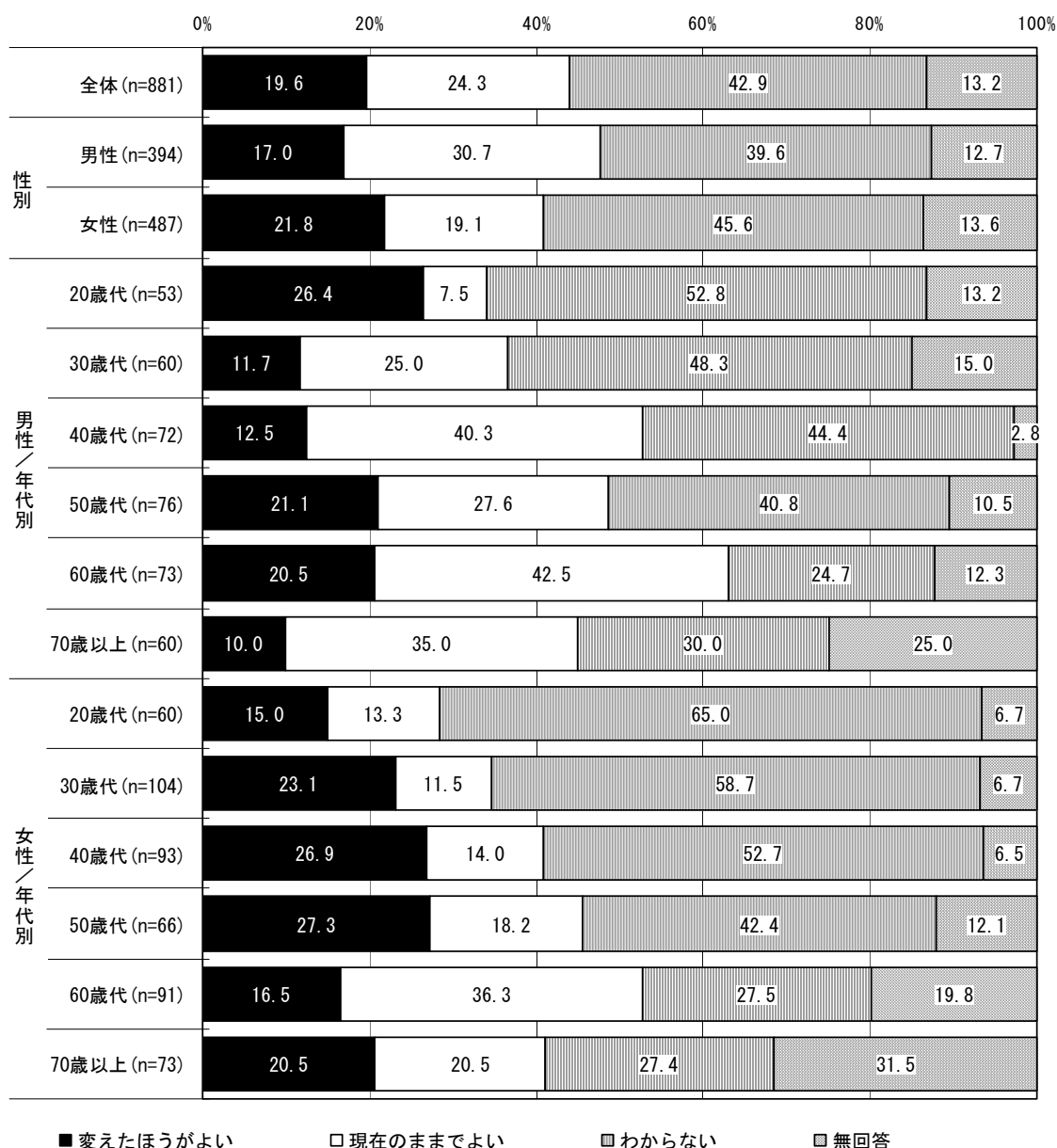


「ふちゅう市議会だより」の紙面構成については、「わからない」(42.9%)が最も高く、次いで「現在のままでよい」(24.3%)「変えたほうがよい」(19.6%)の順となっており、「現在のままでよい」が「変えたほうがよい」を上回っている。〔図 6-16〕

性別で見ると、「変えたほうがよい」と「わからない」は「男性」より「女性」のほうが高くなっている。一方、「現在のままでよい」は「女性」より「男性」のほうが高くなっている。

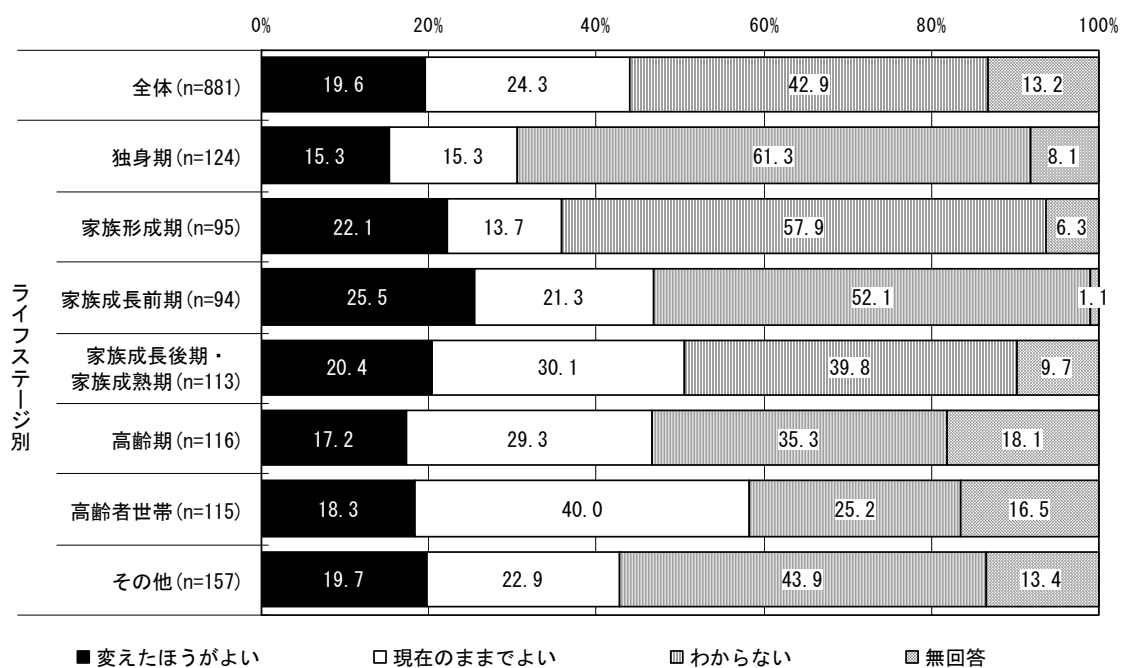
年代別にみると、「変えたほうがよい」は「女性」の「50歳代」で最も高く、次いで「女性」の「40歳代」、「男性」の「20歳代」となっており、それぞれ2割半ばを占めている。「現在のままでよい」は「男性」の「60歳代」と「40歳代」で高く4割以上を占めている。「わからない」は「男性」「女性」ともに「20歳代」で最も高くなっている。〔図6-17〕

図6-17 「ふちゅう市議会だより」の紙面構成／性・年代別



ライフステージ別で見ると、「変えたほうがよい」は「家族成長前期」で最も高く、次いで「家族形成期」「家族成長後期・家族成熟期」となっており、それぞれ2割以上を占めている。「現在のままでよい」は「高齢者世帯」で最も高く、ライフステージが上がるにつれて高くなる傾向がみられる。〔図 6-18〕

図 6-18 「ふちゅう市議会だより」の紙面構成／ライフステージ別





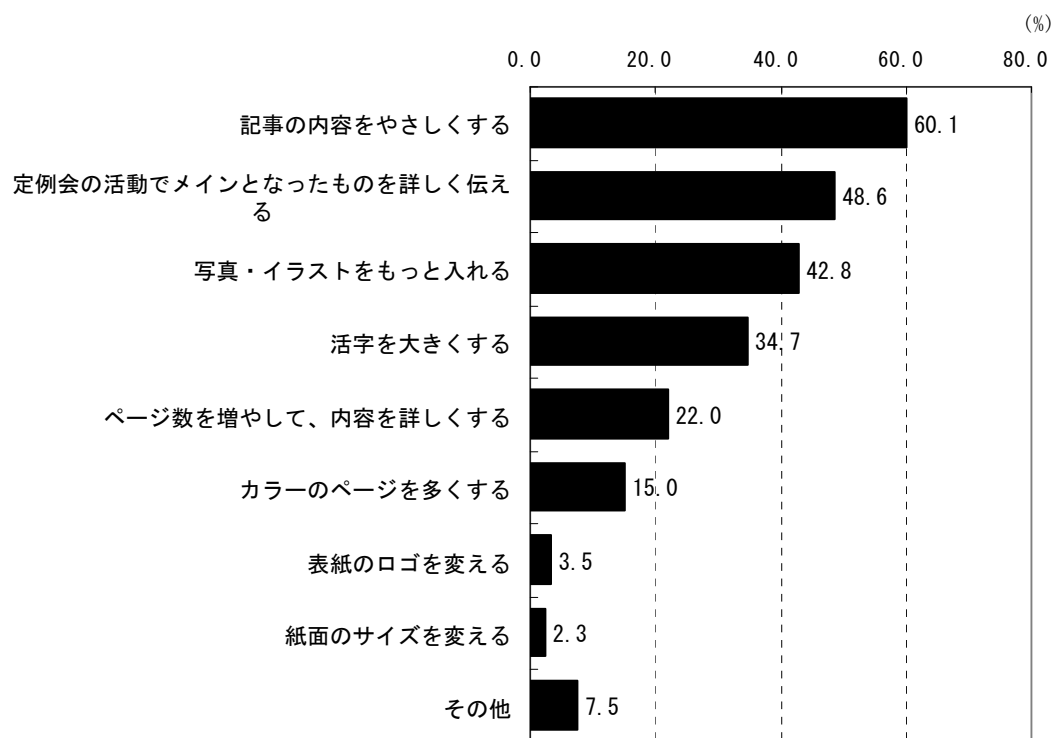
## (6)「ふちゅう市議会だより」に望む紙面構成

「記事の内容をやさしくする」が6割を占めている。

〔問 24 で「1」とお答えの方に〕

問 24-1. あなたは、今後「ふちゅう市議会だより」の紙面構成をどのように変えたほうがよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(n=173)

図 6-19 「ふちゅう市議会だより」に望む紙面構成（複数回答）

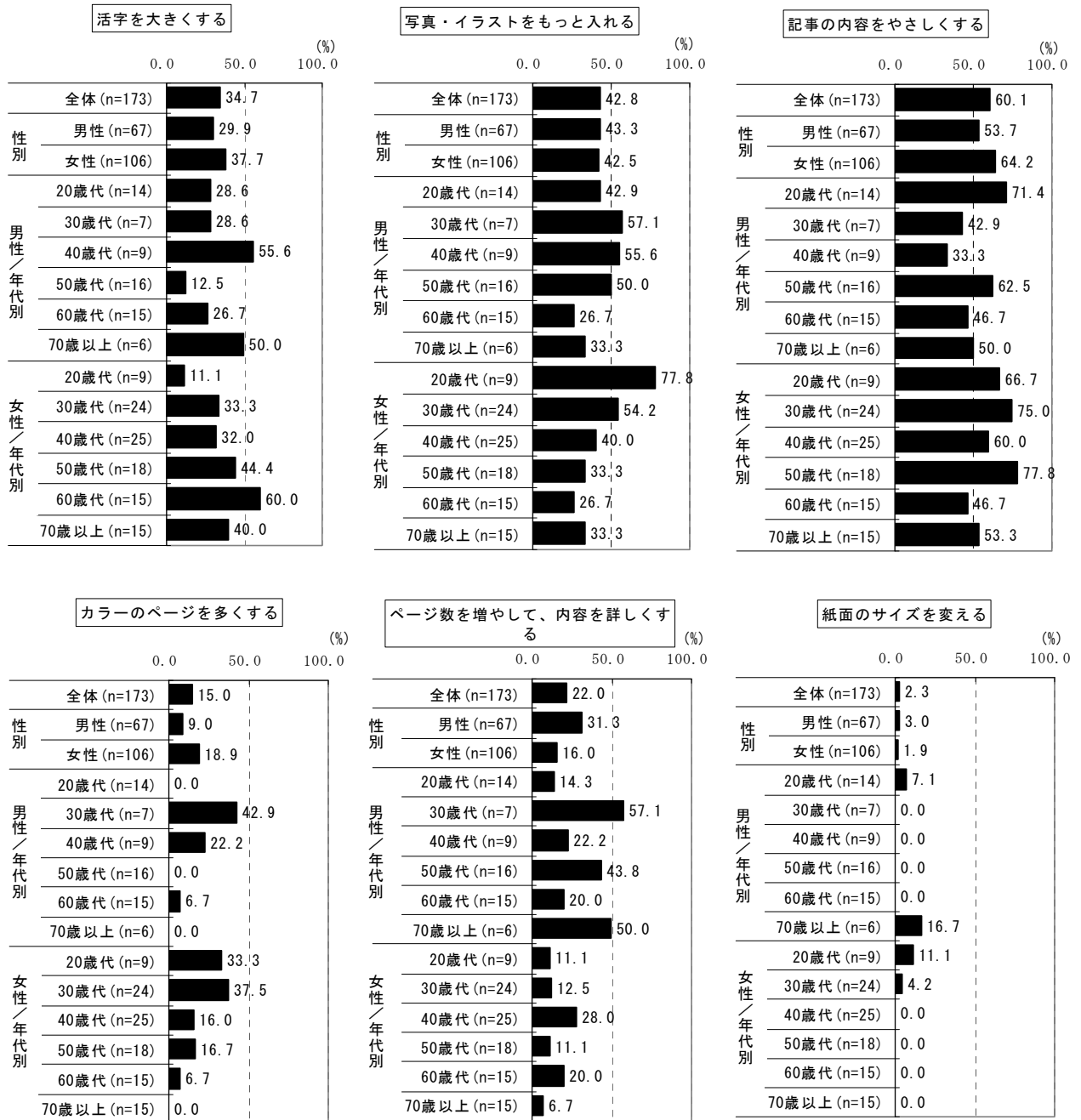


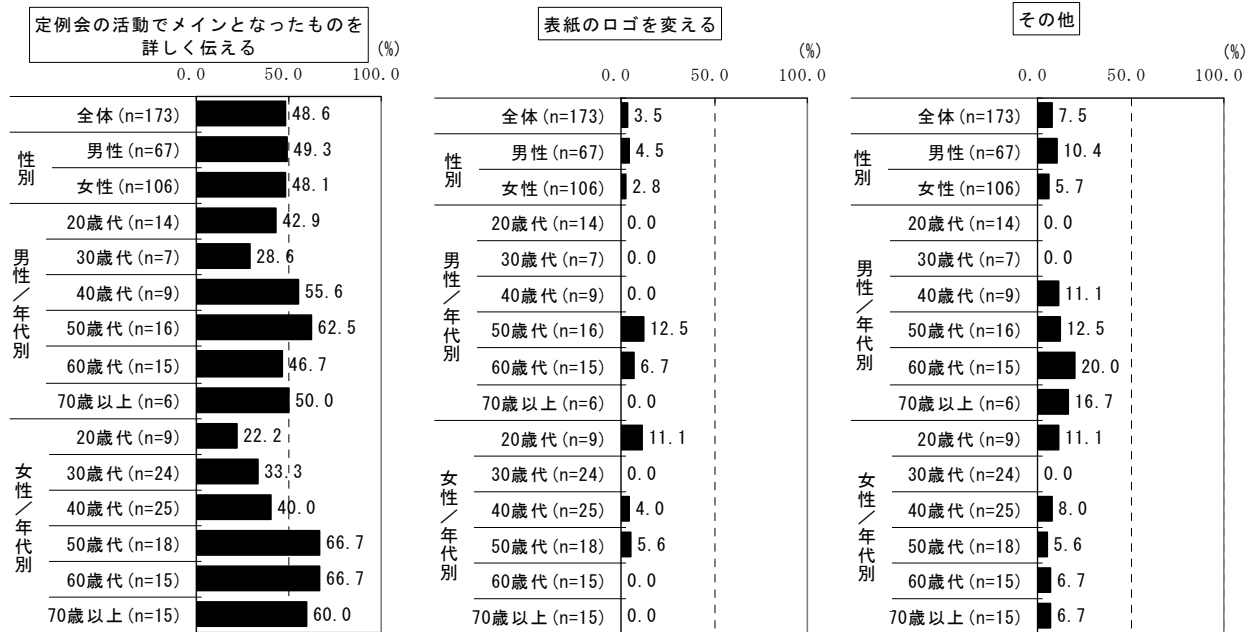
「ふちゅう市議会だより」に望む紙面構成については、「記事の内容をやさしくする」(60.1%)が最も高く、次いで「定例会の活動でメインとなったものを詳しく伝える」(48.6%)「写真・イラストをもっと入れる」(42.8%)の順となっている。〔図 6-19〕

性別で見ると、「記事の内容をやさしくする」「活字を大きくする」「カラーのページを多くする」は「男性」より「女性」のほうが高くなっている。

年代別で見ると、「記事の内容をやさしくする」は「男性」の「20歳代」「女性」の「30歳代」「50歳代」で高く7割以上を占めている。「定例会の活動でメインとなったものを詳しく伝える」は「男性」の「50歳代」「女性」の「50歳代」から「70歳以上」で高く6割以上を占めており、「女性」では年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「写真・イラストをもっと入れる」は「女性」の「20歳代」で最も高く8割近くを占めており、「女性」の若い年代で高くなっている。〔図6-20〕

図6-20 「ふちゅう市議会だより」に望む紙面構成／性・年代別





ライフステージ別にみると、「記事の内容をやさしくする」は「家族形成期」「家族成長前期」「高齢期」で高く7割以上を占めている。「定例会の活動でメインとなったものを詳しく伝える」は「高齢者世帯」で最も高く、ライフステージが上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「写真・イラストをもっと入れる」は「家族形成期」「家族成長前期」で高く6割前後を占めている。〔図 6-21〕

図 6-21 「ふちゅう市議会だより」に望む紙面構成/ライフステージ別

